

科目名	メイク理論						
科目名(英)	Makeup theory						
単位数	—	時間数	15時間	担当者	重松 愛子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 ネイル・エステコース						
授業概要	皮膚理論を通し「顔の成り立ち」、「化粧品」の定義、「メイクアップコンセプト」、更にステップアップとしてパーソナルコーディネートやメイクアップのバリエーションなどメイクアップの基礎知識を学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習:	実習: △	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	△	○				メイクアップ理論を理解し、肌別のスキンケアアドバイスができる。	
	△	○				メイクアップデザインの3要素を理解し、人に勧めることができる。	
	△	○				理想のプロポーションに近づけるための知識を深めカウンセリング～アドバイスができる。	
テキスト・教材 参考図書	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P1～56 復習				記入漏れがないか確認	
	2	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P59～63 メイクアップデザインの3要素「色・形・質感」				予め範囲を読んでおくこと	
	3	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P64～71 カラーベース、配色とメイクアップ、形(デザイン)				予め範囲を読んでおくこと	
	4	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P72～78 メイクアップデザインコーディネート、理想のプロポーション				予め範囲を読んでおくこと	
	5	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル 小テスト 試験範囲P59～78				体調管理に気を付けること	
	6	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P80～87 皮膚の専門知識 皮膚の構造～生理作用、季節の肌の変化				予め範囲を読んでおくこと	
	7	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P88～96 紫外線の肌への影響、主な化粧品の種類と特徴、ベースの応用				予め範囲を読んでおくこと	
	8	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル 小テスト 試験範囲P80～96				体調管理に気を付けること	
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験を前期・後期に実施する。(3)授業の中で企画書、カウンセリングシート作成を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験		◎				50%
	小テスト		◎				30%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
	授業態度						
企画書・カウンセリングシート		○				20%	
履修上の注意	出席が2/3に満たない場合は定期試験の受験資格を与えない。						

課目名	エステ理論					
課目名(英)	Esthetic theory					
課目単位数		時間数	90(45)	担当者	菊池佳子	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 エステコース 2年					
授業概要	上級エステティシャン(筆記)一次検定合格の力をつけ、症例に必要な技術と知識をリンクさせ、分析力をつけ、実践的な考える力を身につけ、実践的な考える力をつける。上級エステティシャン検定2次試験(実技)に必要な技術理論の習得。症例のまとめ方を学び症例書類を作成し、一連の流れを振り返り、弱点を発見でき補う。					
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	目標					
	◎					肌分析に必要な理論を理解し、モデルの肌分析ができ説明できる。
	◎					身体分析に必要な理論を理解し、モデルのボディ分析ができ説明できる。
	◎	○		○		商材、効果、目的、原因、禁忌事項などお客様に説明できる力をつける。(口頭試問含む)
	○				○	記録シートを作成後、振り返り、問題点に対して改善案を提案できる。
◎					上級エステティシャン検定(筆記)の合格に必要な知識を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	エステティック学理論Ⅰ～Ⅲ・エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱ、上級エステティシャン問題集、食品成分表、参照プリント、商材プリント 自分が必要と思うプリントと参考資料,USB					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(衰えた肌、シワとたるみ・紫外線、寒気、乾燥、加齢)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	2	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(色素沈着とシミの種類、女性のリズム、精神的ストレス)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	3	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(ニキビの過程と種類と原因と見分け方、胃腸の不良、生活習慣、偏食、運動不足、睡眠不足)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	4	上級エステティシャン検定問題集テスト			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	5	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(肌荒れ、敏感の原因とケア方法の基本)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	6	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(肌質チェックの項目、肌分類のポイント)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	7	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(弱点強化)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	8	上級エステティシャン検定問題集テスト			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	9	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(弱点強化)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	10	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(弱点強化)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	11	様々な肌状態・美しさを損ねる要因(弱点強化)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	12	上級エステティシャン検定問題集テスト			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	13	コンサルテーションシートの書き方と見方・フェイシャルカウンセリング1			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	14	フェイシャルカウンセリング1のコンサルテーションシート解説			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	15	カウンセリング2とコンサルテーションシート解説			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	16	上級エステティシャン検定問題集テスト			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	17	身体の分析(セルライトとむくみの仕組みと原因と改善方法・脂肪、体脂肪、BMIの計算)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	18	身体の分析(筋肉のたるみの仕組みと原因と改善方法・基礎代謝の理解)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	19	上級エステティシャン検定問題集テスト			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	20	身体の分析(肥満の原因・静脈瘤の状態と原因・体質の確認の仕方)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	21	身体の分析(有効的な運動方法と種類・食事のアドバイスのポイント・便秘の原因と改善方法)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	
	22	身体の分析(肩こりと腰痛の原因、改善アドバイス方法、胚用の種類と見分け方)			その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。	

授業計画	23	身体の分析(骨格のゆがみの種類と見分け方、ストレッチマークの原因)	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	24	身体の分析(ストレスと睡眠の質と影響、皮膚疾患と禁忌事項の確認)	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	25	肌と身体分析の弱点強化	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	26	理論に基づく口頭試問(フェイシャル)	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	27	理論に基づく口頭試問(ボディ・ワックス)	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	28	コンサルテーションシートの書き方と見方・ボディカウンセリング1	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	29	フェイシャルカウンセリング1のコンサルテーションシート解説	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	30	接客について(空間、五感、おもてなし)・神経系と脳と施術効果	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	31	症例のコンサルテーションシートの目的を学び書き方と話し方のポイント	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	32	症例の実技の流れ、考え方、作成方法、モデルに対する説明の仕方	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	33	症例のシートポイント、結果を出す調べ方と考え方	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	34	ケースヒストリー①の記録シートのまとめ方、2回目のホームケアアドバイス	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	35	モデル別における問題点や改善点の質疑応答	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	36	モデル別における問題点や改善点の質疑応答	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	37	ケースヒストリー②の記録シートのまとめ方、3回目のホームケアアドバイス	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	38	モデル別における問題点や改善点の質疑応答	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	39	モデル別における問題点や改善点の質疑応答	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	40	上級エステティシャン検定口頭試問のポイント強化	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	41	上級エステティシャン検定口頭試問のポイント強化	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	42	ケースヒストリー③の記録シートのまとめ方、4回目のホームケアアドバイス	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	43	ケースヒストリー④の記録シートのまとめ方	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	44	上級エステティシャン検定口頭試問の強化	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	45	弱点強化(皮膚科学、解剖生理学、技術理論)	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	46	ケースヒストリー のトリートメントまとめの記録の作成の考え方と仕方と作成	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	47	ケースヒストリートリートメントまとめの記録の作成	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	48	記録シートをもとに振り返りと提案	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	49	記録シートをもとに振り返りと提案	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	50	定期試験の解説と補足	その日に学んだことを必ず復習する。エステティック理論Ⅰ～Ⅲ、エステティック学技術編Ⅰ、Ⅱを読み込み覚える事。					
	評価方法	(1)授業の中で小テストを4回行う (2)宿題・記録シートの提出(期日厳守!) (3)定期試験を実施(筆記) 以上を 授業態度と下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		○	◎				50%	
小テスト		◎					10%	
宿題・レポート		◎					20%	
平常点				○		10%		
履修上の注意	・エステティック学理論編と技術編(五冊)を覚える。パソコンの入力が出来ない学生は、今から練習しておく。							

課目名	栄養学						
課目名(英)	Nutrition science						
課目単位数		時間数	15時間	担当者	大仁田 あずさ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年						
授業概要	人が健康を維持増進し、また、あらゆる疾病を予防するうえで、栄養バランスのとれた食事を適切に摂り、合理的に栄養を摂取することは極めて重要である。そこで、本科目では、人間が必要とする各栄養素について解説し、人間の摂食行動から栄養素の消化・吸収、代謝、排泄にいたるまでを体系づけて講義する。さらに、便秘・ストレス・肌トラブル等、さまざまな症状における栄養ケアについても解説する。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				五栄養素を列挙し、その種類と働きについて説明できる。		
	○				人間の食欲と食行動、摂食調節、栄養感覚について説明できる。		
		○			各栄養素の消化・吸収・代謝について、それぞれのプロセスを説明できる。		
		○			便秘・ストレス・肌トラブル等、さまざまな症状における栄養ケアについて説明できる。		
			○		食事調査を実施し、自らの食生活の実態と問題点を明らかにすることにより、自身の健康で豊かな食生活を実現することができる。		
テキスト・教材 参考図書	新井映子,小清水貴子他 『Super Live View』 東京書籍						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	五栄養素の復習(各栄養素の種類とその働き)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	症状別栄養ケア(便秘・疲労・ストレス・肌トラブル・口内炎等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	人間の食欲と食行動、摂食調節、栄養感覚			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	栄養素の消化・吸収の基本概念とそのしくみ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	糖質の消化・吸収と代謝			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	脂質とたんぱく質の消化・吸収と代謝			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	エネルギー代謝(基礎代謝、活動代謝、食事誘発性熱産生)、体内からの排泄(尿、便の成分と排泄のしくみ)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	食事調査の実施、自身のBMI、適正体重、基礎代謝量の計算			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト						
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	メイク実習							
科目名(英)	make up training							
単位数	—	時間数	30時間	担当者	重松 愛子			
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 ネイル・エステコース							
授業概要	シウウエムラのメイクアップの基礎技術を習得しディプロマを取得する。またその基礎メイクアップを基に、メイクの応用技術を習得する。その際にアイテムの特徴や目的を理解し学習する。技術レベルの統一化と底上げを図る。							
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他			
			○					
			○					
			○					
テキスト・教材 参考図書	①シウウエムラメイクアップ技術検定試験マニュアル ②MAKEUP YOUR MIND BY FRANCOIS NARS ③The Art of Makeup/Kevyn Aucoin							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示			
	1. 2	・シウウエムラ技術検定試験内容 1年次の復習 スキンケア～フルメイクアップ			・事前にマニュアルを読んでおく			
	3. 4	・シウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング用セッティング スキンケア～フルメイクアップ			・事前にマニュアルを読んでおく			
	5. 6	・シウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング用セッティング クレンジング～スキンケア～フルメイクアップ			・事前にマニュアルを読んでおく (メイクオフの状態からスタート)			
	7. 8	・シウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング～スキンケア～フルメイクアップ			・事前にマニュアルを読んでおく (メイクオフの状態からスタート)			
	9. 10	・特殊メイク(すり傷、深い傷、打撲痕、弾痕、火傷、眉つぶし、)・・・パテ や血のりの使い方などを学び作品制作			・スキンケアを入念に施しておく (ベースメイクアップを施しておく)			
	11 12	・イメージに沿ったメイクアップを施す(表現力の育成)			道具忘れに注意(全教材必須)			
	13 14	・ステージメイクアップ・・・Art Beauty Collectionに沿って			道具忘れに注意(全教材必須)			
	15 16	・ステージメイクアップ・・・Art Beauty Collectionに沿って			道具忘れに注意(全教材必須)			
	17 18	・シウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング～スキンケア～フルメイクアップ			・事前にマニュアルを読んでおく (メイクオフの状態からスタート)			
	19 20	・シウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング～スキンケア～フルメイクアップ 実技試験			・自己管理の徹底 ・事前にマニュアルを読んでおく (メイクオフの状態からスタート)			
	21 22	・パーティーメイクアップ ・ブライダルメイクアップ			ドレスの色味などを決めてくること			
	23 24	・パターンメイクアップNo.1～13の中から (アイシャドウ+チークの色の 配色を学び、モデルに似合うメイクアップを施す)			カラー配色に事前に目を通しておくこと			
	25 26	・パターンメイクアップNo.1～13の中から (アイシャドウ+チークの色の 配色を学び、モデルに似合うメイクアップを施す)			学んだカラー配色を復習すること			
	27 28	・パターンメイクアップNo.1～13の中から (アイシャドウ+チークの色の 配色を学び、モデルに似合うメイクアップを施す)			学んだカラー配色を復習すること			
	29 30	・メイク実技テスト 50分 ・道具の片づけ&お手入れ			体調管理に気を付けること			
	評価方法	(1)授業の中で実技テストを実施する。(2)授業態度として道具の手入れや出席率など積極的に取り組んでいること。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		実技試験			○			50%
		発表・作品			○			20%
ディプロマ取得			○			30%		
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。							

科目名	ネイル実習					
科目名(英)						
単位数	—	時間数	75	担当者	林理沙	
実施年度	2019	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	BS科2年 メイク、エステコース					
授業概要	ジェルネイル全般を学び、サロンワークに必要な専門知識技術の習得を行い、ジェルネイル検定初級を目指す。ジェルネイル検定とはNPO法人日本ネイリスト協会がお客様に安心して施術を受けて頂けるよう健全なジェルネイルの普及を目的に実施している試験である。また、サロンワークに必要な時短アートや持ちの良いテクニックを学びトータルビューティーで「美」と向き合っていく。お客様に施術をする上でカウンセリングにしっかり時間を掛ける事は重要である。この授業ではジェルネイルの特質と正しい知識の習得、ケアの必要性を理解し、幅広いアートを時間内に施すことを目指す。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
			○			目標
	○					ジェルを施す前提にケアの必要性と手順を説明し、実施できる
			○			ジェルの特長や留意点を5つ以上説明できる
			○			お客様のカウンセリング後、時間を意識した施術ができる
		○			企画書を作成し、時間内に作品を仕上げる	
○					爪の病気とトラブルを知った上で、対策方法を3つ以上説明できる	
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルシステム、JNAジェルネイル、フット					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	教材確認、ジェル準備物、1カラー塗布、オフ			1年次使用したネイル一式を持参	
	2	プレパレーション、1カラー塗布、トップジェルの厚み			毎回新教材を持参	
	3	アート①グラデ・タイダイ・フレンチ				
	4	プレパレーション+自爪にアート①				
	5	アート②バブル・お花				
	6	プレパレーション+自爪にアート②				
	7	ジェル検定アート、検定カラー				
	8	ジェル検定アート、検定カラー 相モデル交代 (トップジェル凹凸を真横から確認)				
	9	アート③お花パターン				
	10	プレパレーション+自爪にアート③				
	11	小テスト				
	12	検定アート				
	13	カウンセリング、ジェル塗布				
	14	カウンセリング、ジェル塗布(トップジェル凹凸を真横から確認する)				
	15	フットケア理論				
	16	フットジェル				
	17	検定アート、赤塗布①				
	18	検定アート、赤塗布②相モデル交代				
	19	アート(結晶、スポンジ、ツイード) チップに作成				
	20	プレパ、アート(結晶、スポンジ、ツイード)、オフ、自爪に実施				
	21	カウンセリング、ジェル塗布、作品				
	22	カウンセリング、ジェル塗布、作品、プロテクションコート				
23	工程別技術チェック					

	24	工程別技術チェック、赤塗りの工程をチェック					
	25	苦手意識の克服					
	26	苦手意識の克服、技術の見直し、課題を見つける					
	27	タイム追い					
	28	タイム追い 相モデル交代					
	29	模擬試験①					
	30	模擬試験①相モデル交代					
	31	フットジェル					
	32	フットジェル、セルフ					
	33	小テスト					
	34	小テスト、相モデル交代					
	35	苦手意識の克服					
	36	苦手意識の克服、技術の見直し、課題を見つける					
	37	模擬試験①本番モデル リペア確認					
	38	模擬試験①本番モデル					
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)作品提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト	○		○	○		50%
	宿題・レポート						
	発表・作品			○	○		50%
履修上の注意	教材、テキスト、ノートを持参 ネイル実習は自爪に戻しておく。						

課目名	エステ実習					
課目名(英)	Esthetic training					
課目単位数	-	時間数	300時間	担当者	菊池佳子	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	エステ関係会においてエステ ティシャンとして勤務	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 エステティシャンコース 2年					
授業概要	上級エステティシャン検定実技試験の合格の力をつけ、カウンセリング力、判断力、時間の意識がきちんとできる。検定以外の応用技術を身につけ症例をこなせる力をつけ考える力を磨き、知識と技術をリンクさせ、実践的な現場に近い技術が出来る。エステの総仕上げとなり、真剣に取り組む程、知識と技術とともに大幅に伸びる事を目的とする。					
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				検定項目が適切に技術ができ全て時間内にできる。
	○	○		○		ボディ、フェイシャルともにカウンセリングにおける分析と総合判断が出来、口頭で説明できる。
		○	○			応用マッサージを覚えるだけでなく、自分で作りモデルに適したマッサージを組み立て技術出来る。
	○	○				モデルの要望を考慮した適正なプログラムたてられる。
テキスト・教材 参考図書	エステティック 技術理論1、参照プリント(応用マッサージ)・商材ファイル・商材パンフレット					
回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
1~2	ディーブクレンジング(粒子有)、シートマスク使用方法				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
3~4	ディーブクレンジング、(吸引)、機器(イオントフォーゼ)、化粧品の選択				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
5~6	ディーブクレンジング、(粒子無)、機器(イオントフォーゼ)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
7~8	ボディ(リンパ節の技術理論、サクシオン)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
9~10	ディーブクレンジング(技術理論の確認、エレクトロクレンジング)パック				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
11~12	ワックス(膝下両面)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
13~14	ボディ(サクシオン)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
15~16	Qiの技術確認(クレンジング、拭き取り、フェイシャルマッサージ)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
17	技術理論の補足と確認				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
18~19	Qiの技術確認(呼吸法、覚醒法、背面マッサージ)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
20~21	ワックス(肘下)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
22~23	吸引、エレクトロクレンジング・パック				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
24~25	ボディ(低周波、腹部、大腿部)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
26~27	ディーブクレンジング(酵素)、バター(技術理論含む)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
28~31	ワックス(膝下、肘下)検定試験の流れ				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
32~33	ボディ(低周波、上腕、下肢)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
34~35	バター、パック				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
36~37	フェイシャル応用マッサージ(アンチエイジング部位別1)パック				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
38	ボディ(G5)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
39	ボディ(G6)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
40~43	クレンジング、コンサルテーションシート、応用マッサージ(部位別2)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
44~45	ボディ応用マッサージ(下肢)				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	
46~47	ワックス(膝下、肘下)検定試験の流れ				技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。	

48～50	クレンジング・マッサージ(基本手技)	各自の作品に必要なものを準備する。
51～52	洗顔・ブラシクレンジング	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
53～54	ボディ応用マッサージ(腹部、上腕)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
55～56	パター・パック(ペースト)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
57～58	ワックス検定試験の流れでタイム追い	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
59～60	検定科目(メイクとネイルのセッティングとメイク検定の流れ)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
61～62	検定科目(メイクタイム追いとネイル検定の流れ)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
63～64	フェイシャル 検定の一連の流れ	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
65～66	ボディ 検定の一連の流れ	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
67～68	フェイシャル・ボディの苦手分野のタイム追い	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
69～72	検定試験(模擬試験の流れ)・科目 : フェイシャル、メイク、ネイル、ボディ、ワックス	外部モデルを用意する事(エステの禁忌事項に該当しない方)※モデル条件の詳細を確認する事。検定の流れでできなかったことを勉強する事。
73～74	フェイシャル弱点強化(コンサルテーション、トリートメントの選択、口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
75～76	ボディ弱点強化(コンサルテーション、トリートメントの選択、口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
77～78	フェイシャル弱点強化(マッサージの組み立て、タイム追い、ホームケアアドバイス)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
79～80	ボディ 弱点強化(マッサージの組み立て、タイム追い、ホームケアアドバイス)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
81～82	ワックス 弱点強化(タイム追い、口頭試問)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
83～84	フェイシャル弱点強化(コンサルテーション、口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
85～86	ボディ 弱点強化(コンサルテーション、口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
87～90	模擬試験①・科目 : フェイシャル、メイク、ネイル、ボディ、ワックス	外部モデルを用意する事(エステの禁忌事項に該当しない方)※モデル条件の詳細を確認する事。検定の流れでできなかったことを勉強する事。疑問があれば質問の準備をすること。
91～92	フェイシャル弱点強化(口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
93	ケースヒストリー	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
94～95	ボディ 弱点強化(口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
96～97	クレンジング、マッサージの選択	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
98～101	模擬試験②・科目 : フェイシャル、メイク、ネイル、ボディ、ワックス	外部モデルを用意する事(エステの禁忌事項に該当しない方)※モデル条件の詳細を確認する事。検定の流れでできなかったことを勉強する事。疑問があれば質問の準備をすること。
102～103	フェイシャル弱点強化(口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
104～105	ボディ 弱点強化(口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
106～109	模擬試験③・科目 : フェイシャル、メイク、ネイル、ボディ、ワックス	外部モデルを用意する事(エステの禁忌事項に該当しない方)※モデル条件の詳細を確認する事。検定の流れでできなかったことを勉強する事。疑問があれば質問の準備をすること。
110～111	フェイシャル弱点強化(口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
112～113	ボディ 弱点強化(口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
114～115	ワックス 弱点強化(口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
116～117	メイク・ネイル 弱点強化(口頭試問、タイム追い)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
118～119	フェイシャル・ボディの弱点強化	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
120～123	上級エステティシャン本試験・科目 : フェイシャル、メイク、ネイル、ボディ、ワックス	外部モデルを用意する事(エステの禁忌事項に該当しない方)※モデル条件の詳細を確認する事。検定の流れでできなかったことを勉強する事。疑問があれば質問の準備をすること。
124～127	検定不合格科目の実技	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
128～131	上級エステティシャン再試験 不合格科目のみ	不合格者のみ外部モデルを用意する事検定の流れでできなかったことを勉強する事。疑問があれば質問の準備をすること。
132～133	検定フィードバック ・検定後の課題の実技	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。
134～135	フェイシャル(クレンジング、マッサージ) 基本項目チェック	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。

	136～ 137	フェイシャル石膏パック	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。				
	138～ 139	背中のボディケア(ディープクレンジング、マッサージパック)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。				
	140～ 141	ボディ石膏パック	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。				
	142	ロールプレイング(お客様の説明、商品、トリートメント内容)	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。				
	143～ 144	フェイシャルコンサルテーションシート、ロールプレイング	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。				
	145～ 146	ボディ コンサルテーションシート、ロールプレイング	技術理論、商材の成分、効果や関連する理論を理解し覚える。必ず自主練習をして復習する事。				
	147～ 148	ビューティーワールドジャパン 福岡	・レポート課題に対しての内容を会場で積極的に率先する事。エステ協会の講習会もきちんとメモする事。				
	149～ 150	商品の並べ方、棚卸、機器の清掃方法、その他の取り扱い	・メモの準備、丁寧に素早く実践する事				
評価方法	(1)宿題の提出(期日厳守!)(2)定期試験を実施(実技・筆記)(3)小テスト(筆記・実技)・模擬試験の評価と下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○	○			50%
	小テスト・模擬試験	○	○	○			25%
	宿題・レポート	○			○		25%
履修上の注意	外部モデルは、事前に押さしておく(毎回、同じ人でも変わっても問題ないが、エステの禁忌事項該当者は不可)。予備モデルも抑えておくこと。授業外での技術の自主練習と理論の自主勉強は、検定合格する為に必須である。						

課目名	ヘアアレンジ						
課目名(英)	Hair Styling						
課目単位数		時間数	18時間(9時間)	担当者	江藤登志美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次						
授業概要	ヘアアレンジの技術を通してメイク、ネイル、エステの技術とのバランスを考えてトータルで美をとらえて、学内外のコンテストや就職後、お客様に提案し実践できる技術と知識を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					使用するピン、編み込みの種類の名前と用途を説明することができる。	
		○				雰囲気に合わせてに合わせスタイルを2つ以上提案することができる。	
			○			希望するウェーブやカールを2つ以上の巻き方で作成することができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	道具の名称・説明、ブロッキングの仕方、ゴムの留め方復習			配布していたプリントを見直す。		
	2	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	3	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	4	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	5	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	6	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	7	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品	○	○	○	○		100%
履修上の注意							

課目名	アロマセラピー						
課目名(英)	Aromaterapy						
課目単位数		時間数	18(9)	担当者	菊池佳子		
実施年度	2019年	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年 エステコース						
授業概要	エステティシャンやアロマセラピストにかかせない精油を学び、リラックス、リフレッシュなど、美と健康に役立つ様々な働きをし、安全な使用方法だけでなくそのメカニズムや利用方法、原料植物や歴史や健康学を学び知識を身につけます。また、香りの嗅ぎ分けを取得し、自分で調合できる実践力を身につけ、エステサロンや日常生活に生かす力を習得する。						
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:		
					実技:		
						※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	◎				精油のプロフィール(30種)の特徴を理解し、ブレンドができる。	
	◎					アロマセラピーのメカニズムを知り効果的な方法を選択できる。	
	○					アロマセラピーに関わる健康字と法律を理解し見え、安全でかつ有効的な方法を提案できる。	
	◎	○				アロマセラピー検定1級を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	・アロマ環境協会1級テキスト・参照プリント・精油のキット(30種)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1,2	・検定詳細説明・精油の嗅ぎ分け練習・2級範囲確認テストと補足説明			テキスト2級範囲を事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。		
	3,4	・精油の嗅ぎ分け練習・アロマセラピーの歴史			テキストを事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。学んだことを復習する事。		
	5,6	・確認テスト・精油の嗅ぎ分け練習とブレンド・健康学			テキストを事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。学んだことを復習する事。		
	7	・確認テスト・精油の嗅ぎ分け・アロマセラピーに関する法律			テキストを事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。学んだことを復習する事。		
	8,9	・確認テスト・精油の嗅ぎ分けブレンド			テキストを事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。学んだことを復習する事。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回行う (2)宿題の提出 (期日厳守!) (3)定期試験を実施 以上を 授業態度と下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					50%
	小テスト	○	○				20%
	宿題・レポート	○					30%
	発表・作品						
履修上の注意	自主勉強を繰り返し、問題プリントをする事。検定まで期日が近いので不明な点は、必ず質問すること。						

課目名	アロマセラピー						
課目名(英)	Aromaterapy						
課目単位数		時間数	18(9)	担当者	菊池佳子		
実施年度	2019年	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年 エステコース						
授業概要	エステティシャンやアロマセラピストにかかせない精油を学び、リラックス、リフレッシュなど、美と健康に役立つ様々な働きをし、安全な使用方法だけでなくそのメカニズムや利用方法、原料植物や歴史や健康学を学び知識を身につけます。また、香りの嗅ぎ分けを取得し、自分で調合できる実践力を身につけ、エステサロンや日常生活に生かす力を習得する。						
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:		
				実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	◎				精油のプロフィール(30種)の特徴を理解し、ブレンドができる。	
	◎					アロマセラピーのメカニズムを知り効果的な方法を選択できる。	
	○					アロマセラピーに関わる健康字と法律を理解し見え、安全でかつ有効的な方法を提案できる。	
	◎	○				アロマセラピー検定1級を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	・アロマ環境協会1級テキスト・参照プリント・精油のキット(30種)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1,2	・検定詳細説明・精油の嗅ぎ分け練習・2級範囲確認テストと補足説明			テキスト2級範囲を事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。		
	3,4	・精油の嗅ぎ分け練習・アロマセラピーの歴史			テキストを事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。学んだことを復習する事。		
	5,6	・確認テスト・精油の嗅ぎ分け練習とブレンド・健康学			テキストを事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。学んだことを復習する事。		
	7	・確認テスト・精油の嗅ぎ分け・アロマセラピーに関する法律			テキストを事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。学んだことを復習する事。		
	8,9	・確認テスト・精油の嗅ぎ分けブレンド			テキストを事前に読んでおくこと。精油のキットを使用し嗅ぎ分け練習をすること。学んだことを復習する事。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回行う (2)宿題の提出(期日厳守!) (3)定期試験を実施 以上を授業態度と下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					50%
	小テスト	○	○				20%
	宿題・レポート	○					30%
	発表・作品						
履修上の注意	自主勉強を繰り返し、問題プリントをする事。検定まで期日が近いので不明な点は、必ず質問すること。						

課目名	応用エステ実習Ⅱ						
課目名(英)	Applied beauty treatment salon training Ⅱ						
課目単位数		時間数	38	担当者	菊池佳子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 エステコース 2年						
授業概要	資生堂QIフェイシャルベーシックテクニックの技術を学び身に付けディプロマを修得し応用の技術力を高める。また、現場のデモンストレーションの速さを知る。エステティック技術偏や検定以外のマッサージや機器を学び、技術の幅を広げケースヒストリーや検定に活かし、モデルに適切なトリートメントをすることが出来、実践力を高める。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎			○		QIの化粧品商材の成分と効果を理解し説明できる。	
	○	○	◎			QIの手順と正確な技術を覚え適切な技術トリートメントができ、コンセプト施術効果をわかりやすく説明できる。	
			◎			資生堂QIフェイシャルベーシックのディプロマを習得する。	
	○	○				モデルにとって最適な商材を理解し選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	・QIフェイシャルテクニックベーシック編テキスト・QIブランドテキスト・商材プリント・技術プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~4	資生堂QI講師による技術理論、商品概要説明、コンセプト、技術デモンストレーション			前日にQI講習用技術準備と理論用の机を準備する事。当日のデモンストレーションの内容を復習しておくこと。外部モデル必要(全体で1名)※皮膚疾患、禁忌に該当		
	5,6	ディプロマと技術構成概要を説明。QIのポイントクレンジングとクレンジング			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	7,8	QI仕上げ・エッセンスの使用法、呼吸法と覚醒法と商材概要			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	9,10	QI背中の拭き取り・背中のマッサージ前半(①~⑩)、タオル前操作含む			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	11,12	QI背中のマッサージ後半(⑪~⑬)			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	13,14	QI背中のマッサージ一連の流れ(⑭~⑲)			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	15,16	確認テスト(背中のマッサージ)			技術の自主練習を覚えるまでしておくこと。		
	17,18	QIフェイシャルマッサージ前半(①~⑯)			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	19~22	QIフェイシャルマッサージ後半と(⑰~㉑)と一連の流れ			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	23~26	QI石膏マスク、ディーブクレンジング			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	27~29	QIアイシートマスク、クールパック、洗顔法			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	30~32	応用技術トリートメント組み立ての理論と技術			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
	33,34	確認テスト(フェイシャルマッサージ)			技術の自主練習を覚えるまでしておくこと。		
	35,36	QIトリートメント総復習とチェック			技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。		
37,38	QIディプロマ試験			技術の自主練習を覚えるまでしておくこと。			
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回行う (2)宿題の提出 を数回実施する (3)定期試験を実施以上を授業態度と下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○	◎			50%
	小テスト		○	◎	○		20%
	宿題・レポート	◎					10%
	発表・作品 平常点				◎		20%
履修上の注意							

課目名	応用エステ実習Ⅱ						
課目名(英)	Applied beauty treatment salon training Ⅱ						
課目単位数		時間数	38	担当者	菊池佳子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 エステコース 2年						
授業概要	資生堂QIフェイスルベーシックテクニックの技術を学び身に付けディプロマを修得し応用の技術力を高める。また、現場のデモンストレーションの速さを知る。エステティック技術偏や検定以外のマッサージや機器を学び、技術の幅を広げケースヒストリーや検定に活かし、モデルに適切なトリートメントをすることが出来、実践力を高める。						
授業形式	講義:	演習:	○	実習:	○	実技:	○ ※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎			○		QIの化粧品商材の成分と効果を理解し説明できる。	
	○	○	◎			QIの手順と正確な技術を覚え適切な技術トリートメントができ、コンセプト施術効果をわかりやすく説明できる。	
			◎			資生堂QIフェイスルベーシックのディプロマを習得する。	
	○	○				モデルにとって最適な商材を理解し選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	・QIフェイスルテクニックベーシック編テキスト・QIブランドテキスト・商材プリント・技術プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~4	資生堂QI講師による技術理論、商品概要説明、コンセプト、技術デモンストレーション				前日にQI講習用技術準備と理論用の机を準備する事。当日のデモンストレーションの内容を復習しておくこと。外部モデル必要(全体で1名)※皮膚疾患、禁忌に該当	
	5,6	ディプロマと技術構成概要を説明。QIのポイントクレンジングとクレンジング				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	7,8	QI仕上げ・エッセンスの使用法、呼吸法と覚醒法と商材概要				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	9,10	QI背中の拭き取り・背中のマッサージ前半(①~⑩)、タオル前操作含む				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	11,12	QI背中のマッサージ後半(⑪~⑬)				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	13,14	QI背中のマッサージ一連の流れ(⑭~⑲)				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	15,16	確認テスト(背中のマッサージ)				技術の自主練習を覚えるまでしておくこと。	
	17,18	QIフェイスルマッサージ前半(①~⑯)				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	19~22	QIフェイスルマッサージ後半と(⑰~⑳)と一連の流れ				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	23~26	QI石膏マスク、ディーブクレンジング				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	27~29	QIアイシートマスク、クールパック、洗顔法				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	30~32	応用技術トリートメント組み立ての理論と技術				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	33,34	確認テスト(フェイスルマッサージ)				技術の自主練習を覚えるまでしておくこと。	
	35,36	QIトリートメント総復習とチェック				技術の復習をし手順を覚える。使用した商材の成分と働きを覚える。	
	37,38	QIディプロマ試験				技術の自主練習を覚えるまでしておくこと。	
	評価方法	(1)授業の中で小テストを2回行う (2)宿題の提出 を数回実施する (3)定期試験を実施以上を授業態度と下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験			○	◎			50%
小テスト			○	◎	○		20%
宿題・レポート		◎					10%
発表・作品 平常点					◎		20%
履修上の注意							

課目名	カラーコーディネイト							
課目名(英)	Color coordination							
課目単位数		時間数	75時間		担当者	高田純子		
実施年度	2019年		実施時期	前期・後期		実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト2年							
授業概要	パーソナルカラー検定テキストとワークブックを使いながら、色とは何か？パーソナルカラーとは何か？を理解する。パーソナルカラー検定3級を合格するために内容を理解しながら、お客様にパーソナルカラーを通じたアドバイスができるように指導する。ミニテストを頻繁に実施し理解を深める。							
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					パーソナルカラーが何かを理解することができる。		
		○				パーソナルカラーに必要な理論を理解することができる。		
				○		パーソナルカラー実際に使うことができる。		
		○				パーソナルカラー検定3級を取得することができる。		
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラー検定3級公式テキスト・日本パーソナルカラリスト協会 パーソナルカラーワークブック・BABJAPAN							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	色の仕組み、パーソナルカラーとは-実践-テキストP13まで				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	色彩と文化-テキストP25まで、問題集からテスト(第1章)				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	3	色彩理論-第一章答え合わせ、テキストP47まで				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	色彩理論-問題集からテスト(第2章)問40まで、第2章答え合わせ				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	CUS配色効果-テキストP58まで、問題集からテスト(第2章)問41～終り				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	色彩とファッション-テキストP59～最後まで、問題集答え合わせ(第2章)問41～終り				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	色彩とファッション-問題集3.4章からテスト、答え合わせ				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	テスト(パーソナルカラー)-テスト対策、パーソナルカラー検定に向けて				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	テスト(パーソナルカラー)-テスト対策、パーソナルカラー検定に向けて				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	色彩心理-理論・カウンセリング				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	パーソナルカラー実践-コラーージュ作り、イメージ配色理論・実践				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	パーソナルカラー実践-イメージ配色から春(3つのイメージ)メイク・コーディネートデッサン				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	パーソナルカラー実践-春3つコラーージュを作る、秋3つのイメージコーディネートデッサン				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	パーソナルカラー実践-秋3つのイメージメイクデッサン、秋コラーージュ作り				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	パーソナルカラー実践-夏3つのイメージ、夏コーディネートデッサン				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16	パーソナルカラー実践-夏3つメイクデッサン、夏コラーージュ作り				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	パーソナルカラー実践-冬3つのイメージコーディネート・メイクデッサン				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	パーソナルカラー実践-冬3つコラーージュ作り、パーソナルカラー理論・実践				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	パーソナルカラー実践-2グループに分かれてパーソナルカラー実践				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	パーソナルカラー実践-2グループに分かれてパーソナルカラー実践				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21	パーソナルカラー実践-パーソナルカラーメイクデッサン				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	パーソナルカラー実践-パーソナルカラーメイクデッサン				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	総合チェック-相モデルでパーソナルカラーメイク、1人35分ずつテスト				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	授業態度				◎		30%	
	小テスト	○	◎				40%	
	実践		◎		○		30%	
履修上の注意								

課目名	ファッションコーディネート						
課目名(英)	Fashioncodhineito						
課目単位数		時間数	30時間	担当者	タナベアキコ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	BS科2年次						
授業概要	時代感覚の把握(トレンドスタイル)や、顧客イメージの的確な把握をし、美の提案につなげる能力を磨く。感性を高める						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					トータルなファッションの知識を持ち、情報の提案に際して専門用語をきちんと使える	
		○				ひとつのイメージに対して統一感のあるスタイル(帽子、服、アクセサリ、時計、バッグ、靴)を提案ができる	
		○				顧客イメージを的確に把握できる	
		○				顧客のさまざまな年齢や好みに合った優れた提案ができる	
			○			顧客や周りの人間に対しての気配りができる	
テキスト・教材 参考図書	文化「デザイン」、ファッションコーディネートの世界、モードエモード他						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	2019春夏トレンドスタイル				ファッション雑誌に目を通しておくこと	
	2	デザインの発想と企画				ファッション雑誌に目を通しておくこと。コメント欄もよく読むこと	
	3	デザインの発想と企画				ファッション雑誌に目を通しておくこと。コメント欄もよく読むこと	
	4	ディスプレイ				街中のディスプレイを見ておくこと	
	5	市内見学(感想文の提出)				他店のディスプレイや店員の接客の様子に関心を持つ	
	6	統一感のあるスタイリングをまとめる(イメージ1)				ファッション雑誌に目を通しておくこと	
	7	統一感のあるスタイリングをまとめる(イメージ2)				ファッション雑誌に目を通しておくこと	
	8	顧客イメージの分析と分類				ファッション雑誌に目を通しておくこと	
	9	顧客イメージ別提案シート作成(1)				ファッション雑誌に目を通しておくこと	
	10	顧客イメージ別提案シート作成(2)				ファッション雑誌に目を通して	
	11	ファッション販売実績を積みリピーターを増やす				ライブラリーにある接客に関する本に目を通しておくこと	
	12	価値のある提案につなげる				ライブラリーにある接客に関する本に目を通しておくこと	
	13	スタイリストの仕事				自分で多少調べておくこと	
	14	スタイリストの自己啓発法				自分で多少調べておくこと	
15	まとめのテストコメント						
評価方法	(1)授業の中で作品提出(2)宿題レポートを数回実施する						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト	○					10%
	宿題・レポート		◎				10%
	発表・作品		◎				80%
履修上の注意	国内外ファッション雑誌よく見る。映画、アニメ、美術芸術鑑賞、広告、写真集、に目を通す。様々なイメージの蓄積が重要						

科目名	接遇						
科目名(英)	manner						
単位数		時間数	60時間	担当者	高田純子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティスペシャリスト科 2年						
授業概要	姿勢・動作などの「形」だけではなく、心を伝えるマナーとして、自分に「なぜ、この様にした方がよいのか？」を問い答えを出しながら実践ができるように指導する。人(相手)を大切にするという思いやりの心を常に根底に持ち続けられるよう、マナー一つ一つの内容を伝えながら、実践を中心に身に付けてゆく。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				接遇とは何かを理解することができる。		
			○		社会人としての基本的な振る舞いができる。		
		○			ホスピタリティ(常に相手に思いやりの心を持ち接することができる。)		
				○	授業の中で学び実践したことが無意識にできる。		
テキスト・教材 参考図書	なし。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	接遇の基本知識-復習テスト、答え合わせ、解説			1年時にした資料を見て復習しておくこと		
	2	接遇の基本-接遇を生かす目標設定、姿勢、座り方、理論・実践			1年時の資料を事前に読んでおくこと		
	3	第一印象構成要素-動作、立ち振る舞い、面接、理論・実践			1年時の資料を事前に読んでおくこと		
	4	第一印象構成要素(聴覚)-面接実践、敬語小テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	第一印象構成要素(聴覚)-発声、滑舌、表情、アイコンタクト			1年時の資料を事前に読んでおくこと		
	6	第一印象構成要素(視覚)-発声、滑舌、表情・クレームについて			1年時の資料を事前に読んでおくこと		
	7	第一印象構成要素(視覚)-クレーム対応、グループワーク			授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと		
	8	第一印象構成要素(視覚・聴覚)-クレーム対応実践・細かくチェック			授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと		
	9	第一印象構成要素(視覚・聴覚)-クレーム対応実践・総復習			授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと		
	10	社内マナー-会議マナー・Eメールマナー			1年時の資料を事前に読んでおくこと		
	11	文書の書き方-お礼状の書き方、理論・実践			授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと		
	12	名刺交換-理論・実践、一人ずつチェック			授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと		
	13	コミュニケーションマナー-交流分析理論・性格診断			交流分析について復習すること		
	14	コミュニケーションマナー-会話マナー理論・実践			授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと		
15	総合チェック-自己アピール実践・テスト			授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)実践をする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度	◎	○		◎		30%
	小テスト	◎	◎				30%
	実践	○		○	◎		40%
履修上の注意							

科目名	就職実務						
科目名(英)							
単位数		時間数	30時間	担当者	菊池佳子 林理沙		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○□		
対象学科・学年	BS科2年						
授業概要	就職内定を確実なものとする為に、書類作成・面接・PR素材作成等を実施。また就職ガイダンスを通して疑問を払拭し、長期的な視点で働くことを目指す。他、面談等が必要な場合は適宜実施。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
						就職内定	
						短所、長所を明確にし改善点を自覚する	
						言葉遣い、所作	
テキスト・教材 参考図書	麻生就職本						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1年時振り返り、プランを決める			書類提出フローを再確認		
	2	求人票の見方、勤務エリア、職種内容の見方			履歴書作成		
	3	PR素材の作成、履歴書添削			PR素材作成、履歴書作成		
	4	会社説明会のマナー、質疑応答の仕方			PR素材の添削、狙う会社を5社ピックアップ		
	5	面接指導、履歴書添削			履歴書作成		
	6	面接指導、履歴書添削			履歴書作成		
	7	PR素材の添削、履歴書添削			PR素材作成、履歴書作成		
	8	面接指導			想定される質問		
	9	模擬面接、面談(適宜)			想定される質問		
	10	模擬面接フォロー、面談(適宜)			就職ノート		
	11	お礼状の作成、ご挨拶の仕方、電話対応			就職ノート		
	12	面接指導、履歴書添削			履歴書作成		
	13	面接指導、履歴書添削、面談(適宜)			履歴書作成		
	14	内定後の目標設定			就職ノート		
15	面談			就職ノート			
評価方法	履修が評価へ反映する						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

課目名	グローバル シティズン ベーシック II						
課目名(英)	Global Citizen Basic						
課目単位数	-		時間数	16 (8)	担当者	菊池佳子・林理沙	
実施年度	2019年		実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次						
授業概要	社会の変化に対応出来る良識とスキル・知識を備え、常に挑戦する意欲に満ちた専門職として育成し、即戦力として社会に送り出す。世界は自立しながらも互いに協力しながら成り立っている為、恵まれた人生に感謝し、地域国家の発展の為に貢献できる人材であるグローバルシティズンを目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		考えることの大切さを知る (先人の話や自分を取り巻く環境についての具体的な話から、様々な事を考える)	
	○	○		○		自分の言葉で伝える大切さを知る (言語化の作業を沢山行う事でその大切さに気づき、自分の成長を実感する)	
	○	○		○		目標の大切さ、志の大切さを知る (目標が定まらなければ、行動できない事を知る)	
	○	○		○		行動する大切さに気づく (知行合一、学んだことは行わなければ意味が無い事に気づく)	
テキスト・教材 参考図書	GCBテキスト 視覚教材						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバル シティズンと志 ～志とは何か。どうすれば志を立てる事が出来るのか～					
	2	なぜ志をたてる事が大切なのか ～世界中の中の日本 日本の中の私～				第1講話のレポート提出	
	3	自己を知る ～私の過去・現在・未来～				第2講話のレポート提出	
	4	伝える力を学ぶ ～「個」としての伝える力を高める(自分の言葉で自分の思いと考えを伝える)～				第3講話のレポート提出	
	5	伝える力を学ぶ「グループコミュニケーション」 ～勇気と思いやりを持って言葉のキャッチボールを～				第4講話のレポート提出	
	6	与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる。(言葉の力とプロ意識に学ぶ)				第5講話のレポート提出	
	7	自己の大切さと責任を自覚する。				第6講話のレポート提出 スピーチ練習	
	8	GCB IIを受講して、私が感じた事・気づいた事・学んだこと				第7講話のレポート提出	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1) 受講後には毎回レポートを提出する。 (2) 最終授業の中で1人2分間のスピーチを実施する。 (3) 成績評価基準は、出席、レポート、スピーチを加味し(R)認定とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト	-	-	-	-		-
	小テスト	-	-	-	-		-
	宿題・レポート	-	-	-	-		-
	発表・作品	-	-	-	-		-
履修上の注意	出席が6コマに満たない場合は、(R)認定にならない。						

課目名	総合学習						
課目名(英)	Composite learning						
課目単位数	-	時間数	16 (8)	担当者	菊池佳子・林理沙		
実施年度	2019年	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次						
授業概要	クラス行事や学内イベントを通してコミュニケーション力を高め、目標意識や計画性を持ち、物事の行う意味を考え行動し振り返りを通して自分自身の成長を高める。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		積極的な発言や行動をし、コミュニケーション力を高め、自分で目標を掲げ行動できる。	
テキスト・教材 参考図書	・ターム表 ・参照プリント(必要時に配布)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	LHR, 年間スケジュールの確認 個人目標、クラス目標・				特になし	
	2	クラス会議・健康診断・就職に関して				特になし	
	3	学生交流 レクリエーション 粕屋町総合体育館 球技大会 リレー等				特になし	
	4	学生交流 レクリエーション 粕屋町総合体育館 球技大会 リレー等				特になし	
	5	学生交流 レクリエーション 粕屋町総合体育館 球技大会 リレー等				特になし	
	6	学生交流 レクリエーション 粕屋町総合体育館 球技大会 リレー等				特になし	
	7	LHR 夏季休暇にすべき事(検定・就職)・夏季休暇の計画 長期休暇前の諸注意等				特になし	
	8	LHR 諸注意事項 社会人としての心得				特になし	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1) 成績評価基準は、出席、レポート、必修科目の評価を加味し(R)認定とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト	-	-	-	-		-
	小テスト	-	-	-	-		-
	宿題・レポート	-	-	-	-		-
	発表・作品	-	-	-	-		-
履修上の注意	出席が6コマに満たない場合は、(R)認定にならない。						

課目名	スタイリングマップ						
課目名(英)	Styling Map						
課目単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	伊藤久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年生【メイクアップコース、ネイリストコース】						
授業概要	美容業界ではパーソナル(その人の個人に向けた)スタイリング提案がサービスの差別化の中心となっています。そのパーソナルに向けたスタイリング=完成の提案を論理に基づきお客様だけでなくスタッフ同士での共通言語となるStylingMapを学んでいきます。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					StylingMapの理論を説明出来る	
		○	○			スタイリングのカウンセリング力を高め、応用できる	
		○	○			スタイリング提案の基礎を学び、実践できる	
			○			スタイリングを言語で伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	Styling Map検定テキスト、筆記道具、ハサミ、アイシャドウパレット、雑誌やカタログなど						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Styling Mapとは？目的、目標、説明/セルフチェック			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	テイスト確認/分析・分類キーワード各種解説			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	復習テスト/色のいろいろ			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	物の色、人の色(分析、解説、カラーカード)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	人の色(分析目視グループワーク)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	ウィッグデモンストレーション			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	復習テスト/物の形(分析、解説)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	人の形(分析、解説、分析目視グループワーク)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	復習テスト/物の素材、人の素材(分析、解説)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	復習テスト/人の素材(分析グループワーク)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	11	トータルスタイリング実習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	トータルスタイリング実習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	プレゼン準備			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	プレゼン発表			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	検定対策			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)プレゼンを実施する。(3)検定試験を実施する。 (4)授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				10%
	発表・作品		◎	○	◎		10%
	授業態度				◎		10%
	検定試験	◎	◎				70%
履修上の注意	ノーメイク、カラコンを外すことがあります。 実習では自分たちの洋服、小物を持参し使用することがあります。						

課目名	グローバル シティズン ベーシック II					
課目名(英)	Global Citizen Basic					
課目単位数	-	時間数	16 時間	担当者	菊池佳子・林理沙	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次					
授業概要	社会の変化に対応出来る良識とスキル・知識を備え、常に挑戦する意欲に満ちた専門職として育成し、即戦力として社会に送り出す。世界は自立しながらも互いに協力しながら成り立っている為、恵まれた人生に感謝し、地域国家の発展の為に貢献できる人材であるグローバルシティズンを目指す。					
授業形式	講義:	○	演習:		実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○				考えることの大切さを知る (先人の話や自分を取り巻く環境についての具体的な話から、様々な事を考える。)
	○					自分の言葉で伝える大切さを知る (言語化の作業を沢山行う事でその大切さに気づき、自分の成長を実感する)
		○				目標の大切さ、志の大切さを知る (目標が定まらなければ、行動できない事を知る)
				○		行動する大切さに気づく (知行合一、学んだことは行なわなければ意味が無い事に気づく)
テキスト・教材 参考図書	GCBテキスト 視覚教材					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	グローバル シティズンと志 ～志とは何か。どうすれば志を立てる事が出来るのか～				
	2	なぜ志をたてる事が大切なのか ～世界中の中の日本 日本の中の私～				第1講話のレポート提出
	3	自己を知る ～私の過去・現在・未来～				第2講話のレポート提出
	4	伝える力を学ぶ ～「個」としての伝える力を高める(自分の言葉で自分の思いと考えを伝える)～				第3講話のレポート提出
	5	伝える力を学ぶ「グループコミュニケーション」 ～勇気と思いやりを持って言葉のキャッチボールを～				第4講話のレポート提出
	6	与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる。(言葉の力とプロ意識に学ぶ)				第5講話のレポート提出
	7	自己の大切さと責任を自覚する。				第6講話のレポート提出 スピーチ練習
	8	GCB IIを受講して、私が感じた事・気づいた事・学んだこと				第7講話のレポート提出
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1) 受講後には毎回レポートを提出する。 (2) 最終授業の中で1人2分間のスピーチを実施する。 (3) 成績評価基準は、出席、レポート、スピーチを加味し(R)認定とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	宿題・レポート	○				
	発表・作品				○	
履修上の注意						

課目名	ファッションコーディネート						
課目名(英)	Fashioncodhineito						
課目単位数	—	時間数	30時間	担当者	タナベアキコ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年次						
授業概要	時代感覚の把握(トレンドスタイル)や、顧客イメージの的確な把握をし、美の提案につなげる能力を磨く。感性を高める						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					トータルなファッションの知識を持ち、情報の提案に際して専門用語をきちんと述べることができる	
		○				ひとつのイメージに対して統一感のあるスタイル(帽子、服、アクセサリ、時計、バッグ、靴)を提案ができる	
		○				顧客イメージを的確に把握できる	
		○				顧客のさまざまな年齢や好みに合った優れた提案ができる	
			○			顧客や周りの人間に対しての気配りができる	
テキスト・教材 参考図書	文化「デザイン」、ファッションコーディネートの世界、モードエモード他						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	2019春夏トレンドスタイル—今年の主流カラー、ディテール			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	2	デザインの発想と企画—アイデア、発想へのアプローチ			ファッション雑誌に目を通しておくこと。コメント欄もよく読むこと		
	3	デザインの発想と企画—発想力を鍛える			ファッション雑誌に目を通しておくこと。コメント欄もよく読むこと		
	4	ディスプレイ - ディスプレイの役割と法則性			街中のディスプレイを見ておくこと		
	5	市内見学(感想文の提出)—傾向、接客、ディスプレイなど見学する			他店のディスプレイや店員の接客の様子に関心を持つ		
	6	統一感のあるスタイリングをまとめる(イメージ1—イメージに合わせて統一されたスタイリング)			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	7	統一感のあるスタイリングをまとめる(イメージ2—イメージに合わせて統一されたスタイリング)			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	8	顧客イメージの分析と分類—年代別、趣向別の分類と的確なポイント把握が出来る			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	9	顧客イメージ別提案シート作成(1—自分の年齢と離れた年齢に提案)			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	10	顧客イメージ別提案シート作成(2—自分の年齢と離れた年齢に提案)			ファッション雑誌に目を通して		
	11	ファッション販売実績を積みリピーターを増やす-顧客管理			ライブラリーにある接客に関する本に目を通しておくこと		
	12	価値のある提案につなげる-価値観には個人差がある			ライブラリーにある接客に関する本に目を通しておくこと		
	13	スタイリストの仕事—役割と必要性			自分で多少調べておくこと		
	14	スタイリストの自己啓発法—自己啓発方法			自分で多少調べておくこと		
15	まとめのテストコメント						
評価方法	(1)授業の中で作品提出(2)宿題レポートを数回実施する 下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○					10%
	宿題・レポート		◎				10%
	発表・作品		◎		○		80%
履修上の注意	国内外ファッション雑誌よく見る。映画、アニメ、美術芸術鑑賞、広告、写真集、に目を通す。様々なイメージの蓄積が重要						

科目名	就職実務							
科目名(英)	Finding employment							
単位数	—		時間数	30時間		担当者	菊池佳子 林理沙	
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ビューティスペシャリスト科2年							
授業概要	就職内定を確実なものとする為に、書類作成・面接・PR素材作成等を実施する。説明会やサロン見学で自ら質問する事で疑問を払拭し、長期的な視点で働くことを目指す。他、面談等が必要な場合は適宜実施する。							
授業形式	講義:		演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					就職内定に向けた計画的な取り組みを決め、実行に移す。		
	○					短所、長所を明確にし、改善点を自覚する。履歴書や面接対策に備える。		
		○				言葉遣い、所作を身に付けスマートな対応が出来るようになる。		
テキスト・教材 参考図書	麻生就職本							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	1年時振り返り、プランを決める				書類提出フローを再確認		
	2	求人票の見方、勤務エリア、職種内容の見方				履歴書作成		
	3	PR素材の作成、履歴書添削				PR素材作成、履歴書作成		
	4	会社説明会のマナー、質疑応答の仕方				PR素材の添削、狙う会社を5社ピックアップ		
	5.6	面接指導、履歴書添削				履歴書作成		
	7	PR素材の添削、履歴書添削				PR素材作成、履歴書作成		
	8	面接指導				想定される質問		
	9	模擬面接、面談(適宜)				想定される質問		
	10	模擬面接フォロー、面談(適宜)				就職ノート		
	11	お礼状の作成、ご挨拶の仕方、電話対応				就職ノート		
	12	面接指導、履歴書添削				就職ノート		
	13	面接指導、履歴書添削、面談(適宜)				履歴書作成		
	14	内定後の目標設定				履歴書作成		
	15	面談				就職ノート		
評価方法	(1)個人面談を実施 (2)企業リサーチと仕方、履歴書の添削と面接練習を実施 成績評価基準は、R判定とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	—	—	—	—	—	—	
	小テスト	—	—	—	—	—	—	
	宿題・レポート	—	—	—	—	—	—	
	発表・作品	—	—	—	—	—	—	
履修上の注意								

科目名	メイク実習					
科目名(英)	make up training					
単位数	—	時間数	30	担当者	重松 愛子	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 ネイル・エステコース					
授業概要	シュウウエムラのメイクアップの基礎技術を習得しディプロマを取得する。またその基礎メイクアップを基に、メイクの応用技術を習得する。その際にアイテムの特徴や目的を理解し学習する。技術レベルの統一化と底上げを図る。					
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標
			○			シュウウエムラメイクアップディプロマ取得試験に合格する。
			○			メイクアップの基礎からお応用までのテクニックを活かし、モデルに似合うメイクアップが出来る。
			○			ステージメイクアップを習得し、アートビューティコレクションで実践する。
テキスト・教材 参考図書	①シュウウエムラメイクアップ技術検定試験マニュアル ②MAKEUP YOUR MIND BY FRANCOIS NARS ③The Art of Makeup/Kevyn Aucoin					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	・シュウウエムラ技術検定試験内容 1年次の復習 スキンケア～フルメイクアップ				・事前にマニュアルを読んでおく
	2	・シュウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング用セッティング スキンケア～フルメイクアップ				・事前にマニュアルを読んでおく
	3	・シュウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング用セッティング クレンジング～スキンケア～フルメイクアップ				・事前にマニュアルを読んでおく (メイクオフの状態からスタート)
	4	・シュウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング～スキンケア～フルメイクアップ				・事前にマニュアルを読んでおく (メイクオフの状態からスタート)
	5	・特殊メイク(すり傷、深い傷、打撲痕、弾痕、火傷、眉つぶし)・・・パテや血のりの使い方などを学び作品制作				・スキンケアを入念に施しておく (ベースメイクアップを施しておく)
	6	・イメージに沿ったメイクアップを施す(表現力の育成)				道具忘れに注意(全教材必須)
	7	・ステージメイクアップ・・・Art Beauty Collectionに沿って				道具忘れに注意(全教材必須)
	8	・ステージメイクアップ・・・Art Beauty Collectionに沿って				道具忘れに注意(全教材必須)
	9	・シュウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング～スキンケア～フルメイクアップ				・事前にマニュアルを読んでおく (メイクオフの状態からスタート)
	10	・シュウウエムラ技術検定試験内容 クレンジング～スキンケア～フルメイクアップ 実技試験				・自己管理の徹底 ・事前にマニュアルを読んでおく (メイクオフの状態からスタート)
	11	・パーティーメイクアップ ・ブライダルメイクアップ				ドレスの色味などを決めてくること
	12	・パターンメイクアップNo.1～13の中から (アイシャドウ+チークの色の配色を学び、モデルに似合うメイクアップを施す)				カラー配色に事前に目を通しておくこと
	13	・パターンメイクアップNo.1～13の中から (アイシャドウ+チークの色の配色を学び、モデルに似合うメイクアップを施す)				学んだカラー配色を復習すること
	14	・パターンメイクアップNo.1～13の中から (アイシャドウ+チークの色の配色を学び、モデルに似合うメイクアップを施す)				学んだカラー配色を復習すること
15	・メイク実技テスト 50分 ・道具の片づけ&お手入れ				体調管理に気を付けること	
評価方法	(1)授業の中で実技テストを実施する。(2)授業態度として道具の手入れや出席率など積極的に取り組んでいること。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	実技試験			○		
	発表・作品			○		
	ディプロマ取得			○		
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。					

課目名	エステ実習						
課目名(英)	Esthetic training						
課目単位数	-	時間数	30時間	担当者	菊池佳子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 メイクコース・ネイルコース 2年						
授業概要	・1年次のフェイシャルの基礎をすべての技術(マッサージ、機器、パック)を確認しながら出来るのではなく、きちんと目的、効果、禁忌事項等を理解し、実技が確実に出来るようになり、施術時間内に出来るようになる。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○	○		フェイシャル技術を理解し技術出来る	
	○	○				技術の効果、目的、禁忌事項を理解した上で、施術できる。	
		○	○			各項目が施術時間以内に終える事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	エステティック学技術編1、今までの配布プリント ※アートビューティコレクション時は、作品に必要な道具、参考本、ファッション雑誌						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	吸引、スチーマー、イオントフォーゼの機器			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	2	吸引、スチーマー、イオントフォーゼの機器			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	3	技術理論の補足と確認			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。不明な点の質問を事前		
	4	吸引、エレクトロクレンジング・パック(クリーム)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	5	吸引、エレクトロクレンジング・パック(クリーム)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	6	クレンジング・マッサージ(基本手技)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	7	クレンジング・マッサージ(基本手技)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	8	クレンジング・マッサージ(基本手技)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	9	洗顔・ブラシクレンジング			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	10	洗顔・ブラシクレンジング			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	11	パター・パック(ペースト)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	12	パター・パック(ペースト)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	13	クレンジング、マッサージ(商材の選択)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	14	クレンジング、マッサージ(商材の選択)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	15	弱点強化(技術理論の補足)			筆記等で確認するので技術理論の勉強しておく事。		
評価方法	(1)宿題の提出(期日厳守!) (2)定期試験を実施(実技・筆記)と下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○		○			50%
	宿題・レポート	○					20%
	発表・作品				○		30%
履修上の注意	身だしなみは整え、爪は必ず短く切ること。						

科目名	サロン実習					
科目名(英)	Salon training					
単位数	—	時間数	111時間	担当者	林理沙	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 ネイルコース					
授業概要	カウンセリング力をつけ、コミュニケーション力とおもてなしの心を養う。人の爪に触れ、様々な爪の形と皮膚を知る事で対応力を付ける。友人、兄弟、保護者を実際のお客様と想定し、カウンセリングから施術を実施。その後の反応と施術の持ちをヒアリングし現状の把握と次回への課題を見出す。					
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○		○			カウンセリング力をつけ、希望通りの施術ができるようになる
			○	○		再来客へと繋げられるような施術とお客様を迎える声掛け方法と接客力を身に付ける
			○			サロンで人気のあるデザインを情報を収集し、チップや自爪に表現する事ができる
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルシステム、ジェルシステム、アドバンス					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	シラバス説明、1年次振り返り			1年次教材	
	2	作品作り、素材考案			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	3	作品見せ方と素材考案			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	4	価格比較、打ち出し方の比較			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	5	有名サロン比較			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	6	得意デザインの抽出			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	7	復習、受験先デザインの比較			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	8	チップ作成			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	9	メニューチップ作成			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	10	メニューチップ作成 見せ方も検討			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	11	カウンセリング＋施述90分 ケアメイン				
	12	カウンセリング＋施述90分 カラーメイン				
	13	カウンセリング＋施述90分 ケア、カラー他				
	14	ABCデザインを考案			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	15	企画書にアウトプット			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	12	カウンセリング＋施述90分 カラーメイン				
	13	カウンセリング＋施述90分 ケア、カラー他				
	14	ABCデザインを考案				
	15	企画書にアウトプット			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	16	背景とチップの考案、見せ方、				
	17	チップに落とし込み、作成			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	18	チップに落とし込み、作成する。全体のバランス			デザインとチップ作成に使用する道具持参	
	19	最終仕上げ、全体バランス				
	20	ABC練習/1級対策(スカ5本)			1級道具	
	21	ABC練習/1級対策(スカ5本) 時間の意識			1級道具	
	22	ABC練習/1級対策(アプリケーション見直し)			1級道具	
	23	ABC練習/1級対策(アプリケーション見直し) 時間の意識			1級道具	

授業計画	24	ABC練習/1級対策(チップオーバーレイ見直し)	1級道具				
	25	ABC練習/1級対策(チップオーバーレイ見直し) 時間の意識	1級道具				
	26	ABC練習/1級対策(スカとチップオーバーレイのバランス)	1級道具				
	27	ABC練習/1級対策(スカとチップオーバーレイのバランス) 時間の意識	1級道具				
	28	ABC練習/1級対策(タイム追い)	1級道具				
	29	ABC練習/1級対策(タイム追い、時間配分の設定チェック)	1級道具				
	30	ABC練習/1級対策(タイム追い、時間配分の見直し)	1級道具				
	31	1級内容(検定アート)	1級道具				
	32	1級内容(検定アートの全体バランスと繊細さチェック)	1級道具				
	33	テーマに合わせたデザイン考案	デザインとチップ作成に使用する道具持参				
	34	考案したデザインをチップにアウトプット	デザインとチップ作成に使用する道具持参				
	35	カウンセリング施術90分 ※モデル要 ご案内～施術					
	36	カウンセリング施術90分 ※モデル要 提案～施術					
	37	カウンセリング施術90分 ※モデル要 似合わせ～施術					
	38	カウンセリング施術90分 ※モデル要 ご案内～お見送り					
	39	エキスポ(お肌の状態チェック、赤の調合)					
	40	エキスポ(赤の調合、リペアの有無チェック)					
	41	エキスポ(甘皮の状態確認、赤の調合)					
	42	エキスポ(甘皮の状態、赤の調合、トップの艶確認)					
	43	カウンセリング施術90分 ※モデル要 ご案内～施術					
	44	カウンセリング施術90分 ※モデル要 提案～施術					
	45	カウンセリング施術90分 ※モデル要 似合わせ～施術					
	46	カウンセリング施術90分 ※モデル要 ご案内～お見送り					
	47	カウンセリング施術90分 ※モデル要 似合わせ～ご提案ができる					
	48	カウンセリング施術90分 ※モデル要 似合わせ～ご提案が数種できる					
	49	カウンセリング施術90分 ※モデル要 禁忌事項を伝えることができる					
	50	内定先企業のデザインをチップに作成	デザインとチップ作成に使用する道具持参				
	51	カウンセリング施術90分 ※モデル要 似合わせ～ご提案ができる					
	52	カウンセリング施術90分 ※モデル要 似合わせ～ご提案が数種できる					
	53	小テスト、カウンセリング+施術90分					
	54	内定先企業のデザインを人の爪にできる					
	55	総まとめ①					
56	総まとめ②ネイリストとして必要なこと						
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)作品を作る。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○		○	○		50%
	発表・作品			○	○		50%
履修上の注意	自爪に戻しておく	友人、保護者などモデルとして連れてくる					

科目名	ネイル実習					
科目名(英)	Nail training					
単位数	—	時間数	240時間	担当者	林理沙	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	ネイル関係会社において ネイリストとして勤務	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 ネイリストコース					
授業概要	1年次に習得した基礎技術に加え、イクステンション(人工爪)技術を学ぶ。美しいフォルムを造形するイクステンション技術は如実に技量が出てしまう為、根気強く向き合い練習していくことが重要である。この授業ではジェルネイルやアクリルなどの化学物質で造形するイクステンションを習得し、ネイル検定1級合格を目指す。無駄のないアプリケーションと造形美を意識したフォルムで、感覚ではなく計算した技術力を身に付ける。また、ネイル大会では良い結果を出す為の計画と努力する大切さを学ぶ。協力してくれるモデルへの感謝心を表し、手の扱い方で気持ちを伝え丁寧な所作を身に付ける。					
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	
	○					目標 爪の病気とトラブルについて知った上で、対策方法を3つ以上説明できる
			○			途中で投げ出さず、継続して意欲的に取り組む忍耐力を身につける
			○			大会に意欲的に挑戦し、10位以内を目指す
	○		○			時間を意識したお手入れとアートを含めた施術ができる 爪の構造を学び、お客様の悩みについて改善方法を説明、施術で改善できる
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルシステム、JNAテクニカルアドバンス					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1・2	1年次の教材確認、2級工程チェック			1年次教材持参	
	3・4	2級工程チェック(前半、後半)			1年次教材持参	
	5・6	2級タイム追い			1年次教材持参	
	7・8	フォローアップ、本番モデルのケア、最終確認			1年次教材持参	
	9・10	教材配布、3Dアート基本			毎回、2年次教材持参	
	11・ 12	3Dアート(ハート、丸花、とんがり花、バラ)				
	13・ 14	ジェル教材配布、1カラー塗布、オフ				
	15・ 16	プレパレーション、1カラー塗布、トップジェル厚み				
	17・ 18	1級対策、ミクスチュア取り方				
	19・ 20	1級対策、1ボール、2ボールまで、1000本ノック				
	21・ 22	アート(グラデ、タイダイ、フレンチ)				
	23・ 24	プレバ、アート、オフ 自爪				
	25・ 26	地区大会①カラー塗り				
	27・ 28	地区大会②カラー塗り、色味確認				
	29・ 30	地区大会③トップ比較				
	31・ 32	地区大会④タイム追い				
	33・ 34	地区大会仕上げ 色味、艶、トップの確認				
	35・ 36	地区大会総仕上げ リペア、甘皮最終チェック				
	37・ 38	前回の復習、アート(バブル、お花) ※チップに作成				
	39・ 40	プレバ、アート(バブル、お花)、オフ ※自爪				
	41・ 42	1級対策(ミクスチュアの取り方)復習				
	43・ 44	1級対策(1ボール、2ボールまでの復習、3ボールの取り方)				
	45・ 46	フォームはめ、1ボールアプリケーション				
	47・ 48	2、3ボールまで取り付け				
	49・ 50	アプリケーションからファイリングまでとりつけ、パフ、仕上げ まで				
	51・ 52	アプリケーションからファイリングまでとりつけ、パフ、仕上げ まで 相モデル交代				

授業計画	53・54	ジェル検定アート、カラー塗布					
	55・56	ジェル検定アート、カラー塗布 相モデル交代					
	57・58	前回の復習、アート(お花パターン) ※チップに作成					
	59・60	プレパ、アート(お花パターン)、オフ ※自爪					
	61・62	小テスト					
	63・64	検定アートを固める					
	65・66	アプリケーション3本、磨きまで仕上げ①					
	67・68	アプリケーション3本、磨きまで仕上げ① 相モデル交代 Cカーブチェック					
	69・70	アプリケーション3本、磨きまで仕上げ①					
	71・72	アプリケーション3本、磨きまで仕上げ① 相モデル交代 サイドストレートチェック					
	73・74	カウンセリング、ジェル塗布作品 フロテクションコート使用					
	75・76	カウンセリング、ジェル塗布作品 相モデル交代					
	77・78	オーバーレイ① ハンドに取り付け					
	79・80	オーバーレイ①					
	81・82	オーバーレイ② 相モデル					
	83・84	オーバーレイ② 相モデル					
	85・86	フットケア理論					
	87・88	フットジェル					
	89・90	スカ+オーバーレイ① 2本					
	91・92	スカ+オーバーレイ① 2本 相モデル					
	93・94	スカ+オーバーレイ② 2本 造形美、フォルム					
	95・96	スカ+オーバーレイ② 2本 相モデル					
	97・98	1級検定アート作成、デザインを固める					
	99・100	1級検定アート作成、30分以内におさめる					
	101・102	スカ5本タイム					
	103・104	スカ5本タイム 相モデル					
	105・106	ジェル検定アート、赤塗布 時間意識のクオリティ					
	107・108	ジェル検定アート、赤塗布					
	109・110	苦手意識の克服					
	111・112	苦手意識の克服 工程チェック					
	113・114	1級検定アートタイムはかる 時短の課題					
	115・116	1級検定アートタイムはかる 時短の課題、計画通りかチェック					
117・118	小テスト(スカ・オーバーレイ×2ずつ)						
119・120	小テスト(スカ・オーバーレイ×2ずつ) 相モデル交代						
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)宿題を実施(1000本ノック) (3)定期試験(実技)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験			○			50%
	小テスト	○		○	○		25%
	宿題・レポート			○	○		25%
履修上の注意	毎回自爪に戻しておく モデル要の確認						

科目名	メイク理論						
科目名(英)	Makeup theory						
単位数	—	時間数	15時間	担当者	重松 愛子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 ネイル・エステコース						
授業概要	皮膚理論を通し「顔の成り立ち」、「化粧品の定義」、「メイクアップコンセプト」、更にステップアップとしてパーソナルコーディネートやメイクアップのバリエーションなどメイクアップの基礎知識を学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習:	実習: △	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	△	○				メイクアップ理論を理解し、肌別のスキンケアアドバイスができる。	
	△	○				メイクアップデザインの3要素を理解し、人に勧めることができる。	
	△	○				理想のプロポーションに近づけるための知識を深めカウンセリング～アドバイスができる。	
テキスト・教材 参考図書	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P1～56 復習				記入漏れがないか確認	
	2	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P59～63 メイクアップデザインの3要素「色・形・質感」				予め範囲を読んでおくこと	
	3	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P64～71 カラーベース、配色とメイクアップ、形(デザイン)				予め範囲を読んでおくこと	
	4	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P72～78 メイクアップデザインコーディネート、理想のプロポーション				予め範囲を読んでおくこと	
	5	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル 小テスト 試験範囲P59～78				体調管理に気を付けること	
	6	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P80～87 皮膚の専門知識 皮膚の構造～生理作用、季節の肌の変化				予め範囲を読んでおくこと	
	7	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル P88～96 紫外線の肌への影響、主な化粧品の種類と特徴、ベースの応用				予め範囲を読んでおくこと	
	8	シュウウエムラ メイクアップ技術検定試験マニュアル 小テスト 試験範囲P80～96				体調管理に気を付けること	
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験を前期・後期に実施する。(3)授業の中で企画書、カウンセリングシート作成を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験		◎				50%
	小テスト		◎				30%
	企画書・カウンセリングシート		○				20%
履修上の注意	出席が2/3に満たない場合は定期試験の受験資格を与えない。						

課目名	カラーコーディネイト						
課目名(英)	Color coordination						
課目単位数	—	時間数	75時間	担当者	高田純子		
実施年度	2019年	実施時期	前期・後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト2年						
授業概要	パーソナルカラー検定テキストとワークブックを使いながら、色とは何か？パーソナルカラーとは何か？を理解する。パーソナルカラー検定3級を合格するために内容を理解しながら、お客様にパーソナルカラーを通したアドバイスができるようになる。ミニテストで理解を深める。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					パーソナルカラーが何かを説明することができる。	
	○	○				パーソナルカラーに必要な理論を説明することができる。	
			○			パーソナルカラー実際に使うことができる。	
		○				パーソナルカラー検定3級を取得することができる。	
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラー検定3級公式テキスト・日本パーソナルカラリスト協会 パーソナルカラーワークブック・BABJAPAN						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	色の仕組み、パーソナルカラーとは-実践-テキストP13まで			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	色彩と文化-テキストP25まで、問題集からテスト(第1章)			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	3	色彩理論-第一章答え合わせ、テキストP47まで			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	色彩理論-問題集からテスト(第2章)問40まで、第2章答え合わせ			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	CUS配色効果-テキストP58まで、問題集からテスト(第2章)問41～終り			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	色彩とファッション-テキストP59～最後まで、問題集答え合わせ(第2章)問41～終り			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	色彩とファッション-問題集3.4章からテスト、答え合わせ			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	テスト(パーソナルカラー)-テスト対策、パーソナルカラー検定に向けて			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	テスト(パーソナルカラー)-テスト対策、パーソナルカラー検定に向けて			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	色彩心理-理論・カウンセリング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	パーソナルカラー実践-コラーージュ作り、イメージ配色理論・実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	パーソナルカラー実践-イメージ配色から春(3つのイメージ)メイク・コーディネートデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	パーソナルカラー実践-春3つコラーージュを作る、秋3つのイメージコーディネートデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	パーソナルカラー実践-秋3つのイメージメイクデッサン、秋コラーージュ作り			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	パーソナルカラー実践-夏3つのイメージ、夏コーディネートデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16	パーソナルカラー実践-夏3つメイクデッサン、夏コラーージュ作り			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	パーソナルカラー実践-冬3つのイメージコーディネート・メイクデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	パーソナルカラー実践-冬3つコラーージュ作り、パーソナルカラー理論・実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	パーソナルカラー実践-2グループに分かれてパーソナルカラー実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	パーソナルカラー実践-2グループに分かれてパーソナルカラー実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21	パーソナルカラー実践-パーソナルカラーメイクデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	パーソナルカラー実践-パーソナルカラーメイクデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	総合チェック-相モデルでパーソナルカラーメイク、1人35分ずつテスト			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		30%
	小テスト	○	◎				40%
	実践		◎		○		30%
履修上の注意							

課目名	ヘアアレンジ						
課目名(英)	Hair Styling						
課目単位数		時間数	18時間(9時間)	担当者	江藤登志美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次						
授業概要	ヘアアレンジの技術を通してメイク、ネイル、エステの技術とのバランスを考えてトータルで美をとらえて、学内外のコンテストや就職後、お客様に提案し実践できる技術と知識を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					使用するピン、編み込みの種類の名前と用途を説明することができる。	
		○				雰囲気に合わせてに合わせスタイルを2つ以上提案することができる。	
			○			希望するウェーブやカールを2つ以上の巻き方で作成することができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	道具の名称・説明、ブロッキングの仕方、ゴムの留め方復習			配布していたプリントを見直す。		
	2	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	3	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	4	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	5	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	6	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	7	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品	○	○	○	○		100%
履修上の注意							

課目名	栄養学						
課目名(英)	Nutrition science						
課目単位数	—	時間数	15時間	担当者	大仁田 あずさ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年						
授業概要	人が健康を維持増進し、また、あらゆる疾病を予防するうえで、栄養バランスのとれた食事を適切に摂り、合理的に栄養を摂取することは極めて重要である。そこで、本科目では、人間が必要とする各栄養素について解説し、人間の摂食行動から栄養素の消化・吸収、代謝、排泄にいたるまでを体系づけて学んでいく。さらに、便秘・ストレス・肌トラブル等、さまざまな症状における栄養ケアについても理解する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					五栄養素を列挙し、その種類と働きについて説明できる。	
	○					人間の食欲と食行動、摂食調節、栄養感覚について説明できる。	
		○				各栄養素の消化・吸収・代謝について、それぞれのプロセスを説明できる。	
		○				便秘・ストレス・肌トラブル等、さまざまな症状における栄養ケアについて説明できる。	
			○			食事調査を実施し、自らの食生活の実態と問題点を明らかにすることにより、自身の健康で豊かな食生活を実現することができる。	
テキスト・教材 参考図書	新井映子,小清水貴子他 『Super Live View』 東京書籍						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	五栄養素の復習(各栄養素の種類とその働き)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	症状別栄養ケア(便秘・疲労・ストレス・肌トラブル・口内炎等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	人間の食欲と食行動、摂食調節、栄養感覚			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	栄養素の消化・吸収の基本概念とそのしくみ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	糖質の消化・吸収と代謝			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	脂質とたんぱく質の消化・吸収と代謝			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	エネルギー代謝(基礎代謝、活動代謝、食事誘発性熱産生)、体内からの排泄(尿、便の成分と排泄のしくみ)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	食事調査の実施、自身のBMI、適正体重、基礎代謝量の計算			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
履修上の注意							

課目名	接遇						
課目名(英)	manner						
単位数	—		時間数	60時間	担当者	高田純子	
実施年度	2019年度		実施時期	前期	実務家教員 担当課目	○	
対象学科・学年	ビューティスペシャリスト科 2年						
授業概要	姿勢・動作などの「形」だけではなく、心を伝えるマナーとして、自分に「なぜ、この様にした方がよいのか？」を問い答えを出しながら実践ができるように指導する。人(相手)を大切にするという思いやりの心を常に根底に持ち続けられるよう、マナー一つ一つの内容を伝えながら、実践を中心に身に付けてゆく。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				接遇とは何かを理解することができる。		
			○		社会人としての基本的な振る舞いができる。		
		○			ホスピタリティ(常に相手に思いやりの心を持ち接することができる。)		
				○	授業の中で学び実践したことが無意識にできる。		
テキスト・教材 参考図書	なし。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	接遇の基本知識-復習テスト、答え合わせ、解説				1年時にした資料を見て復習しておくこと	
	2	接遇の基本-接遇を生かす目標設定、姿勢、座り方、理論・実践				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	3	第一印象構成要素-動作、立ち振る舞い、面接、理論・実践				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	4	第一印象構成要素(聴覚)-面接実践、敬語小テスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	第一印象構成要素(聴覚)-発声、滑舌、表情、アイコンタクト				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	6	第一印象構成要素(視覚)-発声、滑舌、表情・クレームについて				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	7	第一印象構成要素(視覚)-クレーム対応、グループワーク				授業内容に係る実践をするので、復習しておくこと	
	8	第一印象構成要素(視覚・聴覚)-クレーム対応実践・細かくチェック				授業内容に係る実践をするので、復習しておくこと	
	9	第一印象構成要素(視覚・聴覚)-クレーム対応実践・総復習				授業内容に係る実践をするので、復習しておくこと	
	10	社内マナー-会議マナー・Eメールマナー				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	11	文書の書き方-お礼状の書き方、理論・実践				授業内容に係る実践をするので、復習しておくこと	
	12	名刺交換-理論・実践、一人ずつチェック				授業内容に係る実践をするので、復習しておくこと	
	13	コミュニケーションマナー-交流分析理論・性格診断				交流分析について復習すること	
	14	コミュニケーションマナー-会話マナー理論・実践				授業内容に係る実践をするので、復習しておくこと	
15	総合チェック-自己アピール実践・テスト				授業内容に係る実践をするので、復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)実践をする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度	◎	○		◎		30%
	小テスト	◎	◎				30%
	実践	○		○	◎		40%
履修上の注意							

課目名	総合学習						
課目名(英)	Composite learning						
課目単位数	-	時間数	16時間	担当者	菊池佳子・林理沙		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次						
授業概要	クラス行事や学内イベントを通してコミュニケーション力とチーム力(組織力)を高め、サービス業として活躍し続ける人材育成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				講義をざざ、質問や自分なりの考えや思いを感想文や発表で伝える事ができ目標を立てれる。	
	○					伝える力、ディスカッションの基礎を学び、具体的に説明できる(アウトプット)	
テキスト・教材 参考図書	・ターム表 ・参照プリント(必要時に配布)・ノート、筆記用具						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション				特になし	
	2	目標をたて、年間スケジュールを組み、行動計画を立てる				特になし	
	3~5	学生交流 レクレーション (チーム制)				特になし	
	6	ディスカッションの基礎				特になし	
	7	シナリオ本質、スキル、素材、書き方				特になし	
	8	これからの学校生活の目標、計画の修正				特になし	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	評価方法	1)授業の中で発表を実施する。(2)宿題として感想文・レポートを提出を課す場合がある。 以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
発表・作品		○	○				90%
宿題・レポート		○					10%
履修上の注意							

課目名	ビューティー・コーディネーター								
課目名(英)									
課目単位数	1単位	時間数	36時間	担当者	渡邊 正明				
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○				
対象学科・学年	BS科2年								
授業概要	今後のサロン運営の中心を担うことであろうビューティー・コーディネーターについての認識および知識を深めビューティー・コーディネーターの考えを身につけサロンスタッフの基礎的理念を身につける。またシャンプー実習をとおしてホスピタリティマインドを身につける。								
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	△	実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○	○				ビューティー・コーディネーターの本質を理解し、説明することができる。			
			○			シャンプー実技を通してお客さまの気持ちを理解できる。			
テキスト・教材 参考図書	・JBCA2級テキスト ・配布プリント								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 1. お客さまのライフ・コーディネーター				1年次の復習			
	2	第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 3. 入店からカウンセリングへ				前回プリントの復習			
	3	第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 5. 次回予約				前回プリントの復習			
	4	第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 8. カウンセリングのための応用技術				前回プリントの復習			
	5~ 12	シャンプー実習				前回説明の再確認			
	13	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 1. サロン・オペレーションとチームワーク				前回プリントの復習			
	14	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 2. サロン・オペレーションの向上				前回プリントの復習			
	15	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 3. 社内トレーナーに必要な心構えとスキル				前回プリントの復習			
	16	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 4. 店販商品の販売促進				前回プリントの復習			
17	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 5. サロン顧客のデータ管理				前回プリントの復習				
18	JBCA過去問題				前回プリントの復習				
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)シャンプー実技のテストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	○				50%		
	小テスト	◎	○				30%		
	実技テスト		◎				20%		
履修上の注意	出席が15回に満たない場合は、定期試験を受けられない。ただし補習完了である場合その限りではない。								

課目名	スタイリングマップ						
課目名(英)	Styling Map						
課目単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	伊藤久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年生【メイクアップコース、ネイリストコース】						
授業概要	美容業界ではパーソナル(その人の個人に向けた)スタイリング提案がサービスの差別化の中心となっています。そのパーソナルに向けたスタイリング=完成の提案を論理に基づきお客様だけでなくスタッフ同士での共通言語となるStylingMapを学んでいきます。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					StylingMapの理論を説明出来る	
		○	○			スタイリングのカウンセリング力を高め、応用できる	
		○	○			スタイリング提案の基礎を学び、実践できる	
			○			スタイリングを言語で伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	Styling Map検定テキスト、筆記道具、ハサミ、アイシャドウパレット、雑誌やカタログなど						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Styling Mapとは? 目的、目標、説明/セルフチェック				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	テイスト確認/分析・分類キーワード各種解説				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	復習テスト/色のいろいろ				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	物の色、人の色(分析、解説、カラーカード)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	人の色(分析目視グループワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	6	ウィッグデモンストレーション				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	復習テスト/物の形(分析、解説)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	人の形(分析、解説、分析目視グループワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9	復習テスト/物の素材、人の素材(分析、解説)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	10	復習テスト/人の素材(分析グループワーク)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	トータルスタイリング実習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	トータルスタイリング実習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	プレゼン準備				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	プレゼン発表				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
15	検定対策				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)プレゼンを実施する。(3)検定試験を実施する。 (4)授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				10%
	発表・作品		◎	○	◎		10%
	授業態度				◎		10%
	検定試験	◎	◎				70%
履修上の注意	ノーメイク、カラコンを外すことがあります。 実習では自分たちの洋服、小物を持参し使用することがあります。						

課目名	グローバル シティズン ベーシック II					
課目名(英)	Global Citizen Basic					
課目単位数	-	時間数	16 時間	担当者	菊池佳子・林理沙	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次					
授業概要	社会の変化に対応出来る良識とスキル・知識を備え、常に挑戦する意欲に満ちた専門職として育成し、即戦力として社会に送り出す。世界は自立しながらも互いに協力しながら成り立っている為、恵まれた人生に感謝し、地域国家の発展の為に貢献できる人材であるグローバルシティズンを目指す。					
授業形式	講義:	○	演習:		実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○				考えることの大切さを知る (先人の話や自分を取り巻く環境についての具体的な話から、様々な事を考える。)
	○					自分の言葉で伝える大切さを知る (言語化の作業を沢山行う事でその大切さに気づき、自分の成長を実感する)
		○				目標の大切さ、志の大切さを知る (目標が定まらなければ、行動できない事を知る)
				○		行動する大切さに気づく (知行合一、学んだことは行なわなければ意味が無い事に気づく)
テキスト・教材 参考図書	GCBテキスト 視覚教材					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	グローバル シティズンと志 ～志とは何か。どうすれば志を立てる事が出来るのか～				
	2	なぜ志をたてる事が大切なのか ～世界中の中の日本 日本の中の私～				第1講話のレポート提出
	3	自己を知る ～私の過去・現在・未来～				第2講話のレポート提出
	4	伝える力を学ぶ ～「個」としての伝える力を高める(自分の言葉で自分の思いと考えを伝える)～				第3講話のレポート提出
	5	伝える力を学ぶ「グループコミュニケーション」 ～勇気と思いやりを持って言葉のキャッチボールを～				第4講話のレポート提出
	6	与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる。(言葉の力とプロ意識に学ぶ)				第5講話のレポート提出
	7	自己の大切さと責任を自覚する。				第6講話のレポート提出 スピーチ練習
	8	GCB IIを受講して、私が感じた事・気づいた事・学んだこと				第7講話のレポート提出
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1) 受講後には毎回レポートを提出する。 (2) 最終授業の中で1人2分間のスピーチを実施する。 (3) 成績評価基準は、出席、レポート、スピーチを加味し(R)認定とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	宿題・レポート	○				
	発表・作品				○	
履修上の注意						

課目名	ファッションコーディネート						
課目名(英)	Fashioncodhineito						
課目単位数	—	時間数	30時間	担当者	タナベアキコ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年次						
授業概要	時代感覚の把握(トレンドスタイル)や、顧客イメージの的確な把握をし、美の提案につなげる能力を磨く。感性を高める						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					トータルなファッションの知識を持ち、情報の提案に際して専門用語をきちんと述べることができる	
		○				ひとつのイメージに対して統一感のあるスタイル(帽子、服、アクセサリ、時計、バッグ、靴)を提案ができる	
		○				顧客イメージを的確に把握できる	
		○				顧客のさまざまな年齢や好みに合った優れた提案ができる	
			○			顧客や周りの人間に対しての気配りができる	
テキスト・教材 参考図書	文化「デザイン」、ファッションコーディネートの世界、モードエモード他						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	2019春夏トレンドスタイル—今年の主流カラー、ディテール			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	2	デザインの発想と企画—アイデア、発想へのアプローチ			ファッション雑誌に目を通しておくこと。コメント欄もよく読むこと		
	3	デザインの発想と企画—発想力を鍛える			ファッション雑誌に目を通しておくこと。コメント欄もよく読むこと		
	4	ディスプレイ - ディスプレイの役割と法則性			街中のディスプレイを見ておくこと		
	5	市内見字(感想文の提出)—傾向、接客、ディスプレイなど見字する			他店のディスプレイや店員の接客の様子に関心を持つ		
	6	統一感のあるスタイリングをまとめる(イメージ1—イメージに合わせて統一されたスタイリング)			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	7	統一感のあるスタイリングをまとめる(イメージ2—イメージに合わせて統一されたスタイリング)			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	8	顧客イメージの分析と分類			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	9	年代別、趣向別の分類と的確なポイント把握が出来る			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	10	顧客イメージ別提案シート作成(1—自分の年齢と離れた年齢に提案)			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	11	顧客イメージ別提案シート作成(2—自分の年齢と離れた年齢に提案)			ファッション雑誌に目を通しておくこと		
	12	ファッション販売実績を積みリピーターを増やす-顧客管理			ライブラリーにある接客に関する本に目を通しておくこと		
	13	価値のある提案につなげる-価値観には個人差がある			ライブラリーにある接客に関する本に目を通しておくこと		
	14	スタイリストの仕事—役割と必要性			自分で多少調べておくこと		
15	スタイリストの自己啓発法—自己啓発方法			自分で多少調べておくこと			
評価方法	(1)授業の中で作品提出(2)宿題レポートを数回実施する 下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○					10%
	宿題・レポート		◎				10%
	発表・作品		◎		○		80%
履修上の注意	国内外ファッション雑誌よく見る。映画、アニメ、美術芸術鑑賞、広告、写真集、に目を通す。様々なイメージの蓄積が重要						

科目名	就職実務							
科目名(英)	Finding employment							
単位数	—		時間数	30時間		担当者	菊池佳子 林理沙	
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ビューティスペシャリスト科2年							
授業概要	就職内定を確実なものとする為に、書類作成・面接・PR素材作成等を実施する。説明会やサロン見学で自ら質問する事で疑問を払拭し、長期的な視点で働くことを目指す。他、面談等が必要な場合は適宜実施する。							
授業形式	講義:		演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					就職内定に向けた計画的な取り組みを決め、実行に移す。		
	○					短所、長所を明確にし、改善点を自覚する。履歴書や面接対策に備える。		
		○				言葉遣い、所作を身に付けスマートな対応が出来るようになる。		
テキスト・教材 参考図書	麻生就職本							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	1年時振り返り、プランを決める				書類提出フローを再確認		
	2	求人票の見方、勤務エリア、職種内容の見方				履歴書作成		
	3	PR素材の作成、履歴書添削				PR素材作成、履歴書作成		
	4	会社説明会のマナー、質疑応答の仕方				PR素材の添削、狙う会社を5社ピックアップ		
	5.6	面接指導、履歴書添削				履歴書作成		
	7	PR素材の添削、履歴書添削				PR素材作成、履歴書作成		
	8	面接指導				想定される質問		
	9	模擬面接、面談(適宜)				想定される質問		
	10	模擬面接フォロー、面談(適宜)				就職ノート		
	11	お礼状の作成、ご挨拶の仕方、電話対応				就職ノート		
	12	面接指導、履歴書添削				就職ノート		
	13	面接指導、履歴書添削、面談(適宜)				履歴書作成		
	14	内定後の目標設定				履歴書作成		
	15	面談				就職ノート		
評価方法	(1)個人面談を実施 (2)企業リサーチと仕方、履歴書の添削と面接練習を実施 成績評価基準は、R判定とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	—	—	—	—	—	—	
	小テスト	—	—	—	—	—	—	
	宿題・レポート	—	—	—	—	—	—	
	発表・作品	—	—	—	—	—	—	
履修上の注意								

科目名	サロン実習						
科目名(英)	salon training						
単位数	—	時間数	51時間	担当者	重松 愛子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 メイクコース						
授業概要	就職後の即戦力となるよう、外部モデルで技術力、知識の向上、コミュニケーション力などを身に付け現場に強い対応力を養う。②高校のメイク講座などの行事に携わり、多勢の前でデモンストレーションを行い、観衆の目になれる。③絵画展などの鑑賞による感性の向上を図る。(想像力を育む)また、コンテスト等での作品制作のスキルアップの為、トータルバランスを見る目を養い、スムーズなメイク技術を施すためタイム追いでスピーディなメイクテクニックを身に着けることができる。						
授業形式	講義:	演習: △	実習: △	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				皮膚知識や肌別のケア方法などを理解し、代表的な4つの肌タイプのカウンセリングができる	
			○			メイクアップテクニックの応用により幅広い年齢層のメイクアップに対応できる	
		△	○			モデルを見て瞬時にカラーやフォルムの提案ができるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	①MODE et MODE ②TONI&GUY ③ SNIP ④和装図鑑						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~9	<メイクアップ応用①> Art Beauty Collectionに向けた作品制作。 企画書~タッチアップ迄。テーマに沿っているかバランスチェック				各々の作品テーマを明確にする	
	10~ 15	<メイクアップ応用②> Art Beauty Collection総仕上げ。 テーマにより近づけるための細部チェックとトータルバランス				各々の作品テーマを明確にする	
	16・17	<メイクアップ応用③> ・高齢に応じたメイクアップ…カラーの選び取り ・皮膚の状態に合わせたメイクアップ…メイクアイテムの選び取り ・眼鏡のレンズに合わせたアイシャドウテクニック…カラーの選び取り ・瞼の皮膚の状態に合わせたメイクアップ				高齢の方の皮膚の状態を把握する。 道具忘れに注意	
	18~ 21	<メイクアップ応用④> ・似合わせのメイクアップ ・似合うメイクアップを 5パターン提案する (カルテ作成) ~タッチアップ				イメージメイクアップを予習する 筆記用具	
	22・23	<メイクアップ応用⑤> ・リクルートメイクアップ ・新社会人向けのメイクアップ(就活にも応用) (スキンケア~フルメイクアップまで)				道具忘れに注意	
	24・25	<メイクアップ応用⑥> ・リクルートメイクアップ デモンストレーション実践 ・高校生の前で実践する(実技時間45分間)				道具忘れに注意 制服 "	
	26	実技テスト ※似合わせのフルメイクアップ 30分間で仕上げる				体調管理に気を付け、道具忘れに要注意	
評価方法	(1)授業の中で実技テストを実施する。※カウンセリング~カラー提案まで。(2)作品制作の完成度が高いこと。(3)道具の取り扱いとして道具の手入れなど積極的に取り組んでいること。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験			○			50%
	発表・作品			○			30%
所作・道具の手入れ					○	20%	
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。						

課目名	フォトシューティング						
課目名(英)	Photo shooting						
課目単位数	—	時間数	30時間	担当者	重松愛子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 メイクコース						
授業概要	①撮影の為にメイクアップスキルを身に付け、テクニックの幅を広げ、就職後の即戦力とする。また結婚式や成人式などの記念日での写真撮影の仕込みが出来るメイクアップスキルを学び身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			撮影時の準備～仕込みの流れが把握でき、メイクの完成～撮影中の修正などができる。	
			○			質感の調整やシーンに合わせてメイクアレンジすることが出来る。	
			○			撮影のメイクアップ基礎から応用まで幅広く使い分けできる	
テキスト・教材 参考図書	①The Art of Makeup/Kevyn Aucoin ②ヘアモード ③ Style ④TONI&GUY、などの美容雑誌						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・ 2	フォトシューティングとは メイクアップのポイント。ベースメイクアップの大切さ。 ①ベースメイクアップ順序 ②コンシーラーテクニック				道具忘れに注意	
	3・ 4	コントロールカラーとコンシーラーテクニック。照明(ライト&自然光)による肌の質感。マット&光沢の差 ①ファンデーションをブラシで塗布する ②パウダーをブラシで付ける				道具忘れに注意	
	5・ 6	<ポイントメイクアップ> アイシャドー&ブラックライナー(インサイドライン)&マスカラ				道具忘れに注意	
	7・ 8	<ポイントメイクアップ> チーク&リップ 肌の色とチークカラー、リップカラーセレクトの仕方 メイクアップ方法				道具忘れに注意	
	9・ 10	美容雑誌の中から、作品をピックアップしてタッチアップする。実際、自然光&スマートフォンで撮影する。				道具忘れに注意	
	11 12	ブロンザーとシェーディングの違い。 ・ ①ブロンザーで日焼け肌を作る。 ②シェーディングで小顔に見せる。 ハイライトによるコントラストでメリハリをつける。				道具忘れに注意	
	13 15	実技試験:①作品制作・・・企画書作成～タッチアップ。 ～ 作品撮り～チェック&修正 ※クオリティー重視 10. (3コマ)相モデル 実技試験 制作時間50分				道具忘れに注意 自己管理に気を付けること	
	評価方法	(1)授業の中で実技テストを実施する。(2)作品の完成度が高いこと。(3)所作や道具の手入れなど積極的に取り組んでいること。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。					
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
実技試験				○			50%
発表・作品				○			30%
所作・道具の手入れ						○	20%
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。						

科目名	ボディジュエル							
科目名(英)	Body Jewel							
単位数	—	時間数	30時間	担当者	重松 愛子			
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 メイクコース							
授業概要	ブライダルやイベント、パーティーシーン、成人式等で華やかな演出ができ、デザイン提案～施術迄が出来るようになる。							
授業形式	講義:	演習: △	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
			○			ボディジュエリーの技術を学び、実際に人体に施すことができる。		
			○			花・蝶・リボン・ハートの様々なデザインを基本に制作することができる。		
			○			ウエディング、パーティ、成人式等のイベントに限らず、日常・非日常のどのようなシーンでも使用できるボディジュエリー”を習得する。		
			○			道具の手入れ、片づけなど積極的に取り組むことができる		
テキスト・教材 参考図書	ボディジュエリーデザイン画 ボディジュエリー教材一式(シート、鉛筆、アート筆、ラメパウダー、グルー、アセトン、コットン、ビニール)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1・2	スキンドール使用 ボディジュエリーとは。ボディジュエリーのニーズ。教材説明。 花のデザインを転写～グルー塗布～ラメパウダーで仕上げる				道具の手入れを確実に 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う		
	3・4	スキンドール使用 簡単な花を転写～グルーとラメパウダーの使い方。グラデーションに挑戦(花卉制作)・片付け方 ※ウッドスティックの使い方				道具の手入れを確実に 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う		
	5・6	スキンドール使用 蝶のデザインを転写～制作まで。ラメパウダーの使い分け。カラーバリエーションとグラデーション				道具の手入れを確実に 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う		
	7・8	薔薇のデザインを転写～制作まで。ラメパウダーの使い分け。グラデーションスキルアップ				道具の手入れを確実に 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う		
	9・10	相モデル ゲストドレスのボディジュエリー制作。配色とグラデーション、枠取りなどのクオリティーの向上				道具の手入れを確実に 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う		
	11・12	相モデル(ドール使用併用) ・ブライダル用ボディジュエリー ウェディングドレスに合わせた白を基調とした花の制作①				道具の手入れを確実に 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う		
	13	相モデル(40分制作) ゲストドレス用、花デザイン&ウェディング用白薔薇+葉の政策				道具の手入れを確実に 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う		
	14・15	実技テスト デザイン転写～作品制作(転写15分 制作時間60分)				道具の手入れを確実に 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う		
	評価方法	(1) 授業の中で実技テストを実施する。(2) 完成度の高い作品を制作する。(3) 所作や道具の手入れなど積極的に取り組んでいること。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験			○			50%
		発表・作品			○			40%
		所作・道具の手入れ			○	△		10%
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。							

科目名	メイク実習					
科目名(英)	make up training					
単位数	—	時間数	210時間	担当者	重松 愛子	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	化粧品会社において美容インストラクターとして勤務	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 メイクコース					
授業概要	<p>メイクアップの基礎技術を活かし、メイクの応用技術を習得する。その際にアイテムの特徴や目的を理解し、メイクアップの意義を学習する。また感性を高めコンテスト作品作りへのチャレンジ精神と向上心を養い、更に技術レベルの統一化と底上げを図る。JMAメイクアップ技術検定2級100%合格を目指す。</p> <p>1年次での基礎を基に道具の使い方の応用と使い分け、またアイテムの特徴&セレクトを認識させ、それによるテクニックの応用はデモンストレーションを通して、把握させる。就職後に向け、似合わせができるようナチュラルメイクアップの修得を目指す。新テクニック毎にデモンストレーションを行い、全体の技術レベルを常に確認し、技術レベルの統一化を図る。</p> <p><エアブラシ>毛穴迄映し出してしまいうハイビジョン(HD)の高精細な画素よりもきめ細かく仕上げる事の出来るエアブラシのテクニックを習得する。エアブラシ界の中でもハイレベルなハリウッドエアーの機器、ファンデーション、カラー素材の知識を具え、就職後の化粧品知識としても役立つことができる。皮膚知識と化粧品学、テクニックと機器の取り扱い～メンテナンス(部品解体～組み立てまで)徹底して学ぶ。</p>					
授業形式	講義: Δ	演習: Δ	実習: ○	実技: Δ	※ 主たる方法:○ その他:Δ	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○				JMA技術検定試験2級の工程説明ができる。
			○			JMA技術検定試験2級の工程が50分で出来る。
		Δ	○			学外メイクアップコンテストへ応用テクニックを駆使しオリジナルの作品制作ができる。
		Δ	○			エアブラシの機器の名称や取り扱いを憶え操作できる。
			○			皮膚生理学と化粧品学の理解とともに肌に合わせてアイテムをセレクトできる。
			○			エアブラシのテクニックを習得する。
			○		常に身の回りの環境を整えられる。	
テキスト・教材 参考図書	<p>①シウウエムラメイクアップ技術検定試験マニュアル ②日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級 ③MAKEUP YOUR MIND BY FRANCOIS NARS ④The Art of Makeup/Kevyn Aucoin ⑤Audrey Hepburn (オードリー・ヘプバーン写真集) ⑥TONI&GUY LOOK BOOK 2017/2018 ⑦HOLLYWOOD AIR エアブラシメイク/ベーシックテキスト for Partner School</p>					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1・2	・1年次の復習 ・教材配布と説明 ・JMA日本メイクアップ技術検定3級実技 復習			JMA日本メイクアップ技術検定試験公式テキストを事前に読んでおくこと	
	3・4	・JMA日本メイクアップ技術検定2級内容 アイメイクアップオフ～マスカラオフテクニック～クレンジング・スキンケア			JMA日本メイクアップ技術検定試験公式テキストを事前に読んでおくこと	
	5・6	・JMA日本メイクアップ技術検定2級内容クレンジング～スキンケア ・ツヤ肌テクニック※ブラシを使ったファンデーション塗布 ※ブラシを使ったパウダリング			JMA日本メイクアップ技術検定試験公式テキストを事前に読んでおくこと	
	7・8	・JMA日本メイクアップ技術検定2級内容 クレンジング～スキンケア ・ベースメイクアップ～アイシャドウ縦割り～リキッドアイライナー&リップカラー			JMA日本メイクアップ技術検定試験公式テキストを事前に読んでおくこと	
	9～12	・JMA日本メイクアップ技術検定試験2級内容 全行程を通す			工程を憶えてくること	
	13・14	・JMA日本メイクアップ技術検定試験2級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技60分)			添えての位置確認と声掛けの練習やイメトレをしてくること	
	15・16	・JMA日本メイクアップ技術検定試験2級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技60分)実技チェック～フィードバック			添えての位置確認と声掛けの練習やイメトレをしてくること	
	17・18	・JMA日本メイクアップ技術検定試験2級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技60分)実技チェック～フィードバック			添えての位置確認と声掛けの練習やイメトレをしてくること	
	19・20	・JMA日本メイクアップ技術検定試験2級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技60分)実技模擬試験			添えての位置確認と声掛けの練習やイメトレをしてくること	
	21・22	・JMA日本メイクアップ技術検定試験2級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技60分)実技チェック～フィードバック			準備から実技まで再確認を行う	
	23・24	・JMA日本メイクアップ技術検定試験2級 本試験			体調管理に気を付ける	

授業計画

25・26	エアブラシ①②教材説明。教材確認。教科書P1～P7ハリウッドエアの特徴、エアブラシメイクアップのメリット、メイクアップアーティストとしての心構え(筆記試験対策)練習用ペーパー使用・・・様々な形にエアブラシで塗ってみる・カラーチェンジのカップ操作 教科書P8～10 エアブラシの使い方 ①持ち方 ②エアのコントロール ③距離によるコントロール ④洗浄	事前にエアブラシの特徴を読んでおくこと 筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)
27・28	エアブラシ③④練習用ペーパー使用・・・様々な形にエアブラシで塗ってみる・カラーチェンジのカップ操作 教科書P8～10 エアブラシの使い方 ①持ち方 ②エアのコントロール ③距離によるコントロール ④洗浄	筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)
29・30	エアブラシ⑤⑥スキンドール使用&相モデル 前回までの復習。教科書P19～25 カラーmixのカップチェンジの練習。ファンデーション～チークまで (筆記試験対策)	筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)
31・32	エアブラシ⑦⑧ 教科書P26～28 ステンシルの使い方 ①アイブロー(カラーmixの比率によるカラーバリエーション ステンシルでアイブローを作る。	筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)
33・34	エアブラシ⑨⑩ 教科書P29～31 アイシャドウ&リップ エアブラシでアイシャドウとリップを作る。 フルメイクアップ モデルに似合うメイクアップを施す。(筆記試験対策)	筆記試験範囲の復習 道具忘れに注意(特に教科書)
35・36	エアブラシ⑪⑫ ディプロマ取得本試験(相モデル) 筆記試験50分 実技試験50分 合格の場合:ディプロマ授与 不合格の場合:再試	筆記試験範囲の復習 体調管理に気を付ける
37・38	・特殊メイク(すり傷、深い傷、打撲痕、弾痕、火傷、眉つぶし、)・・・パテや血のりの使い方などを学び作品制作	スキンケアを入念に施しておく
39・40	・ファンデーションテクニック+スポンジの応用+コンシーラーの見直し +newテクニック	道具忘れに注意(全教材必須)
41・42	・サマーメイクアップ I ・アイシャドウ、アイライン、アイブロー他、 newテクニック&newテーマ ・イメージからアイテム選びまで	通常の道具+スプレイヤーの準備
43・44	・サマーメイクアップ II ・アイシャドウ、アイライン、アイブロー他、 newテクニック&newテーマ	道具忘れに注意(全教材必須)
45・46	サマーメイクアップ 小テスト ・ファンデーションテクニック+スポンジの応用+コンシーラー新テクニック	工程を憶えてくること
47・48	・ファンデーションテクニック+スポンジの応用+コンシーラー新テクニック	道具忘れに注意(全教材必須)
49・50	・ステージメイクアップ・・・ベースの作り方 (照明によるファンデーションやアイシャドウの発色)	道具忘れに注意(全教材必須)
51・52	・イメージに沿ったメイクアップを施す(表現力の育成)	道具忘れに注意(全教材必須)
53～56	・ステージメイクアップ・・・Art Beauty Collectionに沿って	道具忘れに注意(全教材必須)
57～64	シュウウエムラ全国大会対策 テーマに沿ったテクニック応用+基本手技強化練習	メイク道具+マニュアル必須+ヘアアレンジ 道具
65～68	アジアビューティーコンgres対策 企画書作成～タッチアップ	道具忘れに注意(全教材必須)+ヘアアレンジ 道具
69～74	作品制作(トータルバランス) タイム追い 実技時間30分	通常の道具+カッタクロス+トレー
75・76	・キャッツメイク(ボディメイクアップ) 劇団四・cat'sメイク参考 基本の猫	12アソートフラッシュカラー必須 +ファンデーションブラシ
77～80	・キャッツメイク(ボディメイクアップ) 劇団四季・cat'sメイク参考 応用猫	12アソートフラッシュカラー必須 +ファンデーションブラシ
81・82	・cat'sメイク試験	体調管理に気を付ける
83・84	・ヒストリーメイクアップ 1960年代	ライブラリーにてケヴィンオークイン著書監修 に目を通しておくこと
85・86	・ヒストリーメイクアップ 1970年代	ライブラリーにてケヴィンオークイン著書監修 に目を通しておくこと
87・88	・ヒストリーメイクアップ 1980年代	ライブラリーにてケヴィンオークイン著書監修 に目を通しておくこと
89	・似合わせメイクアップ 30分で仕上げる	体調管理に気を付けること

	90・91	・成人式(振袖)メイク	着物の色味を決めてくること				
	92・93	・宝塚メイクアップ ・演劇メイクアップ	事前にメイクを研究してくること				
	94・95	・パーティーメイクアップ ・ブライダルメイクアップ	ドレスの色味などを決めてくること				
	96・103	・パターンメイクアップNo.1～13の中から (アイシャドウ+チークの色の配色を学び、モデルに似合うメイクアップを施す)	カラー配色に事前に目を通し、復習				
	104・105	・メイク実技テスト練習→本試(相モデル) 準備10分 クレンジング～スキンケア30分 ・フルメイクアップ(50分) ・道具の片づけ&お手入れ	体調管理に気を付けること				
評価方法	<p>(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(実技)を前期・後期各1回ずつ実施する。(3)作品制作過程に対する姿勢(準備、段取り)や作品のクオリティーにて評価する。(4)検定試験結果にて評価する。各項目の割合は、下記の通りとする。 評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(実技)			○			50%
	小テスト		△	○			10%
	JMA技術検定試験2級結果		△	○			10%
	発表・作品			○			20%
	エアブラシ修了試験結果		△	○			10%
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。						

科目名	メイクアップ理論							
科目名(英)	Makeup theory							
単位数	—	時間数	30時間	担当者	重松 愛子			
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 メイクコース							
授業概要	メイクアップをする上で必要な理論を習得し、様々な肌への対応が出来るよう、知識を深める。 エアブラシにおける皮膚知識と化粧品学を熟知し、テクニックと機器の取り扱い～メンテナンス(部品解体～組み立てまで)を習得する。							
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他			
	○	△			目標			
	○				用具の名称を理解し、メンテナンスが出来るようになる(解体から～組み立てまで)			
	○				肌(スキントイプ)と化粧品について理解し、知識を深める			
					エアブラシメイクテクニック～メリットを学び、知識を深める			
テキスト・教材 参考図書	HALLYWOOD AIR Airbrush Makeup Basic Textbook for School Partner シュウウエムラメイクアップ検定試験テキスト							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示			
	1	第一章エアブラシメイクの基礎理論 P1～5 ・エアブラシメイクのメリット・・・歴史、特徴 ・メイクアップアーティストとしての心構え ・アクアファンデーションについて(エアブラシアイテム)			・ハリウッドエア―エアブラシ テキスト事前に読んでおく			
	2	第一章エアブラシメイクの基礎理論 P6～9 ・用具の名称 ・ハンドピースの基本操作 ・メイクの重要ポイント			・ハリウッドエア―エアブラシ テキスト事前に読んでおく			
	3	第二章肌と化粧品 P11～15 ・美とは快なり ・肌の構造 ・肌のトラブル ・皮脂とその成分の働き ・肌と化粧品との関係			・ハリウッドエア―エアブラシ テキスト事前に読んでおく			
	4	第二章肌と化粧品 P16～17 ・乾燥肌と脂性肌(4つの肌タイプとケア方法) ・紫外線と皮膚 (SPFとPA)			・ハリウッドエア―エアブラシ テキスト事前に読んでおく			
	5	第三章エアブラシメイクテクニック P20～27 ・ファンデーションについて ・ハイライト、シェーディング ・チーク ・カラーミックス ・ステンシルの使い方			・ハリウッドエア―エアブラシ テキスト事前に読んでおく			
	6	第三章エアブラシメイクテクニック P28～33 ・アイブロウ ・アイシャドウ ・リップ ・コレクティブメイク(骨格修正)			・ハリウッドエア―エアブラシ テキスト事前に読んでおく			
	7	第三章エアブラシメイクテクニック P34～40 ・コレクティブメイク(パーツ補正)・・・目の補正・鼻の補正 ・グラマラスメイク ・ハンドピース分解メンテナンス～洗浄～組み立て			・ハリウッドエア―エアブラシ テキスト事前に読んでおく			
	8	ハリウッドエア―ディプロマ取得試験			・ハリウッドエア―エアブラシ テキスト試験勉強しておく			
	9	シュウウエムラスクールズベーシック P59～71 ・メイクアップデザイン/カラー			・シュウウエムラメイクアップ技術検定試験テキスト			
	10	シュウウエムラスクールズベーシック P59～71 ・メイクアップデザインコーディネート ・フェイスカウンセリング ・理想のプロポーション ・メイクアップのバリエーション ・パーソナルメイクアップコーディネート			・シュウウエムラメイクアップ技術検定試験テキスト			
	11	シュウウエムラスクールズベーシック P72～73 ・メイクアップデザインコーディネート ・フェイスカウンセリング			・シュウウエムラメイクアップ技術検定試験テキスト			
	12	シュウウエムラスクールズベーシック P74～75 ・理想のプロポーション ・各パーツバランス			・シュウウエムラメイクアップ技術検定試験テキスト			
	13	シュウウエムラスクールズベーシック P76～77 ・パーツの位置に対するメイクアップのバリエーション			・シュウウエムラメイクアップ技術検定試験テキスト			
	14	シュウウエムラスクールズベーシック P78 ・パーソナルメイクアップコーディネート ・カウンセリング～企画書作成			・シュウウエムラメイクアップ技術検定試験テキスト			
15	小テスト			・試験勉強しておく				
評価方法	(1)授業の中でハリウッドエア―はディプロマ取得試験、シュウウエムラは小テストを実施する。(2)スキントイプに合わせたカウンセリング～アドバイスが出来る。以上を下記の観点・割合で評価する。 S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
		ディプロマ取得試験		○				50%
		小テスト		○				30%
	カウンセリング		○				20%	
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。							

科目名	ネイル実習					
科目名(英)	Nail training					
単位数	—	時間数	75時間	担当者	林理沙	
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	BS科2年 メイク、エステコース					
授業概要	ジェルネイル全般を学び、サロンワークに必要な専門知識技術の習得を行い、ジェルネイル検定初級を目指す。ジェルネイル検定とはNPO法人日本ネイリスト協会がお客様に安心して施術を受けて頂けるよう健全なジェルネイルの普及を目的に実施している試験である。また、サロンワークに必要な時短アートや持ちの良いテクニックを学びトータルビューティーで「美」と向き合っていく。お客様に施術をする上でカウンセリングにしっかり時間を掛ける事は重要である。この授業ではジェルネイルの特質と正しい知識の習得、ケアの必要性を理解し、幅広いアートを時間内に施すことを目指す。					
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
			○			ジェルを施す前提にケアの必要性と手順を説明し、実施できる
	○					ジェルの特性や留意点を5つ以上説明できる
			○			お客様のカウンセリング後、時間を意識した施術ができる
			○			企画書を作成し、時間内に作品を仕上げる
○					爪の病気とトラブルを知った上で、対策方法を3つ以上説明できる	
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルシステム、JNAジェルネイル、フット					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	教材確認、ジェル準備物、1カラー塗布、オフ			1年次使用したネイル一式を持参	
	2	プレパレーション、1カラー塗布、トップジェルの厚み			毎回新教材を持参	
	3	アート①グラデ・タイダイ・フレンチ				
	4	プレパレーション+自爪にアート①				
	5	アート②バブル・お花				
	6	プレパレーション+自爪にアート②				
	7	ジェル検定アート、検定カラー				
	8	ジェル検定アート、検定カラー 相モデル交代 (トップジェル凹凸を真横から確認)				
	9	アート③お花パターン				
	10	プレパレーション+自爪にアート③				
	11	小テスト				
	12	検定アート				
	13	カウンセリング、ジェル塗布				
	14	カウンセリング、ジェル塗布(トップジェル凹凸を真横から確認する)				
	15	フットケア理論				
	16	フットジェル				
	17	検定アート、赤塗布①				
	18	検定アート、赤塗布②相モデル交代				
	19	アート(結晶、スポンジ、ツイード) チップに作成				
	20	プレパ、アート(結晶、スポンジ、ツイード)、オフ、自爪に実施				
	21	カウンセリング、ジェル塗布、作品				
22	カウンセリング、ジェル塗布、作品、プロテクションコート					

	23	工程別技術チェック					
	24	工程別技術チェック、赤塗りの工程をチェック					
	25	苦手意識の克服					
	26	苦手意識の克服、技術の見直し、課題を見つける					
	27	タイム追い					
	28	タイム追い 相モデル交代					
	29	模擬試験①					
	30	模擬試験①相モデル交代					
	31	フットジェル					
	32	フットジェル、セルフ					
	33	小テスト					
	34	小テスト、相モデル交代					
	35	苦手意識の克服					
	36	苦手意識の克服、技術の見直し、課題を見つける					
	37	模擬試験①本番モデル リペア確認					
	38	模擬試験①本番モデル					
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)作品提出 (3)定期試験(実技)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験			○			50%
	小テスト	○		○	○		25%
	発表・作品			○	○		25%
履修上の注意	教材、テキスト、ノートを持参		ネイル実習は自爪に戻しておく。				

課目名	エステ実習						
課目名(英)	Esthetic training						
課目単位数	-	時間数	30時間	担当者	菊池佳子		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 メイクコース・ネイルコース 2年						
授業概要	・1年次のフェイシャルの基礎をすべての技術(マッサージ、機器、パック)を確認しながら出来るのではなく、きちんと目的、効果、禁忌事項等を理解し、実技が確実に出来るようになり、施術時間内に出来るようになる。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○	○		フェイシャル技術を理解し技術出来る	
	○	○				技術の効果、目的、禁忌事項を理解した上で、施術できる。	
		○	○			各項目が施術時間以内に終える事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	エステティック学技術編1、今までの配布プリント ※アートビューティコレクション時は、作品に必要な道具、参考本、ファッション雑誌						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	吸引、スチーマー、イオントフォーゼの機器			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	2	吸引、スチーマー、イオントフォーゼの機器			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	3	技術理論の補足と確認			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。不明な点の質問を事前		
	4	吸引、エレクトロクレンジング・パック(クリーム)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	5	吸引、エレクトロクレンジング・パック(クリーム)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	6	クレンジング・マッサージ(基本手技)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	7	クレンジング・マッサージ(基本手技)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	8	クレンジング・マッサージ(基本手技)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	9	洗顔・ブラシクレンジング			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	10	洗顔・ブラシクレンジング			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	11	バター・パック(ペースト)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	12	バター・パック(ペースト)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	13	クレンジング、マッサージ(商材の選択)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	14	クレンジング、マッサージ(商材の選択)			その日に学んだことは、必ずテキストを見直し復習する。自主練習を積極的に行う。		
	15	弱点強化(技術理論の補足)			筆記等で確認をするので技術理論の勉強しておく事。		
評価方法	(1)宿題の提出(期日厳守!)(2)定期試験を実施(実技・筆記)と下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○		○			50%
	宿題・レポート	○					20%
	発表・作品				○		30%
履修上の注意	身だしなみは整え、爪は必ず短く切ること。						

課目名	カラーコーディネイト						
課目名(英)	Color coordination						
課目単位数	—	時間数	75時間	担当者	高田純子		
実施年度	2019年	実施時期	前期・後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト2年						
授業概要	パーソナルカラー検定テキストとワークブックを使いながら、色とは何か？パーソナルカラーとは何か？を理解する。パーソナルカラー検定3級を合格するために内容を理解しながら、お客様にパーソナルカラーを通じたアドバイスができるようになる。ミニテストで理解を深める。						
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				パーソナルカラーが何かを説明することができる。		
	○	○			パーソナルカラーに必要な理論を説明することができる。		
		○			パーソナルカラー実際に使うことができる。		
		○			パーソナルカラー検定3級を取得することができる。		
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラー検定3級公式テキスト・日本パーソナルカラー協会 パーソナルカラーワークブック・BABJAPAN						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	色の仕組み、パーソナルカラーとは-実践・テキストP13まで			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	色彩と文化-テキストP25まで、問題集からテスト(第1章)			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	3	色彩理論-第一章答え合わせ、テキストP47まで			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	色彩理論-問題集からテスト(第2章)問40まで、第2章答え合わせ			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	CUS配色効果-テキストP58まで、問題集からテスト(第2章)問41～終り			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	色彩とファッション-テキストP59～最後まで、問題集答え合わせ(第2章)問41～終り			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	色彩とファッション-問題集3、4章からテスト、答え合わせ			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	テスト(パーソナルカラー)-テスト対策、パーソナルカラー検定に向けて			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	テスト(パーソナルカラー)-テスト対策、パーソナルカラー検定に向けて			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	色彩心理-理論・カウンセリング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	パーソナルカラー実践-コラージュ作り、イメージ配色理論・実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	パーソナルカラー実践-イメージ配色から春(3つのイメージ)メイク・コーディネートデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	パーソナルカラー実践-春3つコラージュを作る、秋3つのイメージコーディネートデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	パーソナルカラー実践-秋3つのイメージメイクデッサン、秋コラージュ作り			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	パーソナルカラー実践-夏3つのイメージ、夏コーディネートデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16	パーソナルカラー実践-夏3つメイクデッサン、夏コラージュ作り			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	パーソナルカラー実践-冬3つのイメージコーディネート・メイクデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	パーソナルカラー実践-冬3つコラージュ作り、パーソナルカラー理論・実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	パーソナルカラー実践-2グループに分かれてパーソナルカラー実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	パーソナルカラー実践-2グループに分かれてパーソナルカラー実践			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21	パーソナルカラー実践-パーソナルカラーメイクデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	パーソナルカラー実践-パーソナルカラーメイクデッサン			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	総合チェック-相モデルでパーソナルカラーメイク、1人35分ずつテスト			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		30%
	小テスト	○	◎				40%
	実践		◎		○		30%
履修上の注意							

課目名	ヘアアレンジ						
課目名(英)	Hair Styling						
課目単位数		時間数	18時間(9時間)	担当者	江藤登志美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次						
授業概要	ヘアアレンジの技術を通してメイク、ネイル、エステの技術とのバランスを考えてトータルで美をとらえて、学内外のコンテストや就職後、お客様に提案し実践できる技術と知識を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					使用するピン、編み込みの種類の名前と用途を説明することができる。	
		○				雰囲気に合わせてに合わせスタイルを2つ以上提案することができる。	
			○			希望するウェーブやカールを2つ以上の巻き方で作成することができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	道具の名称・説明、ブロッキングの仕方、ゴムの留め方復習			配布していたプリントを見直す。		
	2	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	3	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	4	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	5	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	6	編み込みテクニック			配布していたプリントを見直す。		
	7	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	編み込みテクニック			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品	○	○	○	○		100%
履修上の注意							

課目名	栄養学						
課目名(英)	Nutrition science						
課目単位数	—	時間数	15時間	担当者	大仁田 あずさ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年						
授業概要	人が健康を維持増進し、また、あらゆる疾病を予防するうえで、栄養バランスのとれた食事を適切に摂り、合理的に栄養を摂取することは極めて重要である。そこで、本科目では、人間が必要とする各栄養素について解説し、人間の摂食行動から栄養素の消化・吸収、代謝、排泄にいたるまでを体系づけて学んでいく。さらに、便秘・ストレス・肌トラブル等、さまざまな症状における栄養ケアについても理解する。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				五栄養素を列挙し、その種類と働きについて説明できる。		
	○				人間の食欲と食行動、摂食調節、栄養感覚について説明できる。		
		○			各栄養素の消化・吸収・代謝について、それぞれのプロセスを説明できる。		
		○			便秘・ストレス・肌トラブル等、さまざまな症状における栄養ケアについて説明できる。		
			○	食事調査を実施し、自らの食生活の実態と問題点を明らかにすることにより、自身の健康で豊かな食生活を実現することができる。			
テキスト・教材 参考図書	新井映子,小清水貴子他 『Super Live View』 東京書籍						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	五栄養素の復習(各栄養素の種類とその働き)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	症状別栄養ケア(便秘・疲労・ストレス・肌トラブル・口内炎等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	人間の食欲と食行動、摂食調節、栄養感覚			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	栄養素の消化・吸収の基本概念とそのしくみ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	糖質の消化・吸収と代謝			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	脂質とたんぱく質の消化・吸収と代謝			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	エネルギー代謝(基礎代謝、活動代謝、食事誘発性熱産生)、体内からの排泄(尿、便の成分と排泄のしくみ)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	食事調査の実施、自身のBMI、適正体重、基礎代謝量の計算			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
履修上の注意							

課目名	接遇						
課目名(英)	manner						
単位数	—		時間数	60時間	担当者	高田純子	
実施年度	2019年度		実施時期	前期	実務家教員 担当課目	○	
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年						
授業概要	姿勢・動作などの「形」だけではなく、心を伝えるマナーとして、自分に「なぜ、この様にした方がよいのか？」を問い答えを出しながら実践ができるように指導する。人(相手)を大切にするという思いやりの心を常に根底に持ち続けられるよう、マナー一つ一つの内容を伝えながら、実践を中心に身に付けてゆく。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					接遇とは何かを理解することができる。	
			○			社会人としての基本的な振る舞いができる。	
		○				ホスピタリティ(常に相手に思いやりの心を持ち接することができる。)	
				○		授業の中で学び実践したことが無意識にできる。	
テキスト・教材 参考図書	なし。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	接遇の基本知識-復習テスト、答え合わせ、解説				1年時にした資料を見て復習しておくこと	
	2	接遇の基本-接遇を生かす目標設定、姿勢、座り方、理論・実践				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	3	第一印象構成要素-動作、立ち振る舞い、面接、理論・実践				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	4	第一印象構成要素(聴覚)-面接実践、敬語小テスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	第一印象構成要素(聴覚)-発声、滑舌、表情、アイコンタクト				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	6	第一印象構成要素(視覚)-発声、滑舌、表情・クレームについて				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	7	第一印象構成要素(視覚)-クレーム対応、グループワーク				授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと	
	8	第一印象構成要素(視覚・聴覚)-クレーム対応実践・細かくチェック				授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと	
	9	第一印象構成要素(視覚・聴覚)-クレーム対応実践・総復習				授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと	
	10	社内マナー-会議マナー・Eメールマナー				1年時の資料を事前に読んでおくこと	
	11	文書の書き方-お礼状の書き方、理論・実践				授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと	
	12	名刺交換-理論・実践、一人ずつチェック				授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと	
	13	コミュニケーションマナー-交流分析理論・性格診断				交流分析について復習すること	
	14	コミュニケーションマナー-会話マナー理論・実践				授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと	
15	総合チェック-自己アピール実践・テスト				授業内容に係る実践をしますので、復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)実践をする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度	◎	○		◎		30%
	小テスト	◎	◎				30%
	実践	○		○	◎		40%
履修上の注意							

課目名	総合学習						
課目名(英)	Composite learning						
課目単位数	-	時間数	16時間	担当者	菊池佳子・林理沙		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年次						
授業概要	クラス行事や学内イベントを通してコミュニケーション力とチーム力(組織力)を高め、サービス業として活躍し続ける人材育成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				講義をきき、質問や自分なりの考えや思いを感想文や発表で伝える事ができ目標を立てれる。	
	○					伝える力、ディスカッションの基礎を学び、具体的に説明できる(アウトプット)	
テキスト・教材 参考図書	・ターム表 ・参照プリント(必要時に配布)・ノート、筆記用具						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション				特になし	
	2	目標をたて、年間スケジュールを組み、行動計画を立てる				特になし	
	3~5	学生交流 レクリエーション (チーム制)				特になし	
	6	ディスカッションの基礎				特になし	
	7	シナリオ本質、スキル、素材、書き方				特になし	
	8	これからの学校生活の目標、計画の修正				特になし	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	評価方法	1)授業の中で発表を実施する。(2)宿題として感想文・レポートを提出を課す場合がある。 以上を下記の観点・割合で単位認定をする。 成績評価基準は、R判定とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
発表・作品		○	○				90%
宿題・レポート		○					10%
履修上の注意							

課目名	ビューティー・コーディネーター						
課目名(英)							
課目単位数	1単位	時間数	36時間	担当者	渡邊 正明		
実施年度	2019年度	実施時期	通年	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	BS科2年						
授業概要	今後のサロン運営の中心を担うことであろうビューティー・コーディネーターについての認識および知識を深めビューティー・コーディネーターの考えを身につけサロンスタッフの基礎的理念を身につける。またシャンプー実習をとおしてホスピタリティマインドを身につける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習: △	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				ビューティー・コーディネーターの本質を理解し、説明することができる。	
			○			シャンプー実技を通してお客さまの気持ちを理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	・JBCA2級テキスト ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 1. お客さまのライフ・コーディネート 2. カウンセリングの基本			1年次の復習		
	2	第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 3. 入店からカウンセリングへ 4. カウンセリング技術			前回プリントの復習		
	3	第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 5. 次回予約 6. 店販につながるカウンセリング 7. クレーム対応			前回プリントの復習		
	4	第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 8. カウンセリングのための応用技術 9. ファッションのスタイル別評価 第Ⅰ部 ビューティ・コーディネーターの役割と仕事 小テスト			前回プリントの復習		
	5~ 12	シャンプー実習			前回説明の再確認		
	13	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 1. サロン・オペレーションとチームワーク			前回プリントの復習		
	14	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 2. サロン・オペレーションの向上			前回プリントの復習		
	15	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 3. 社内トレーナーに必要な心構えとスキル			前回プリントの復習		
	16	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 4. 店販商品の販売促進			前回プリントの復習		
17	第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 5. サロン顧客のデータ管理 6. ビジネス用語集 第Ⅱ部 ビューティ・コーディネーターとサロン・マネジメント 小テスト			前回プリントの復習			
18	JBCA過去問題			前回プリントの復習			
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)シャンプー実技のテストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				30%
	実技テスト		◎				20%
履修上の注意	出席が15回に満たない場合は、定期試験を受けられない。ただし補習完了である場合その限りではない。						